

の農業革命が演ぜられたにも拘らず、また技術がヨーロッパの工場手工業時代と同等の価値ある段階に到達せるにも拘らず、産業資本主義への独自の轉換が起らなかつたことを指摘しようとするに過ぎない。支那の經濟は、外國資本の侵入前に於て「アジア的生產方法」即ち同じ階梯に於て同じ技術をもつてする生産過程の限りなき反覆といふ著しい特徴を持つてゐた。⁶⁾

註6 『支那の農家は二千年來の古い方法と農具とで勞働してゐる』とアメリカ商務省の『支那提要』二二二頁に書いてある。

「……地代の現物形態はアジアに於ては同時に國稅の主要分子でもあるが、この地代の現物形態は……そこでは自然關係の轉向性ととも再生産される生産關係に基いてゐる……」とマルクスは書してゐる。⁷⁾

註7 『資本論』第一卷一〇四頁、傍點著者。(譯者—カウツキー版九八頁、河上譯第二分冊二三大頁、高島譯第一卷一一〇頁)。

或は他の個所で印度につて。⁸⁾

「これらの自足的共同體は、絶えず同じ形態に於て再生産され、またたまたま破壊されても同じ場所と同じ名をもつて再興されるものであるが、この自足的共同體の單純生産的機構は、アジア社會の不變性の秘密を開く鍵を供するものであり、アジア諸國家の絶え間ない崩壞及び新興や熄むことない王朝の興亡を見ると、非常に著しい對照をなしてゐる。社會の經濟的根本要因の構造は、政治

と云ふ上空地帯暴風からは何等の影響をも蒙らずにゐる」。

註8 『資本論』第一卷三二三頁、傍點著者。(譯者—カウツキー版三〇五頁、高島譯第一卷三三九頁)。

「アジア的生產方法」の成立、即ち不變的に再生産される經濟的基礎の成立は、決して或る種の資本の形成を許さぬものではない。

「……中世は二つの違つた形態の資本を傳へた。これら(の二形態)は最も多種多様な經濟的社會構成のうち成熟し、資本主義的生產方法の時代に先立つて資本そのものとして作用した——高利資本と商業資本とがそれである」……

「高利貸業と商業とによつて形成された貨幣資本は、農村に於ては封建制度により、都市に於てはツンプト制度によつて、産業資本への轉化を妨げられた」⁹⁾。

註9 『資本論』第一卷七一五頁、(譯者—カウツキー版六七八—九頁、高島譯第一卷第二冊七四四—五頁)。

事實上既に何百年前、否數千年前に支那には商業資本があつた。支那商人は支那手工業及び家内工業の製品を印度やヨーロッパまでも賣した。しかし外國に輸出されたのは自國の必要額——勿論極めて僅少な——を超過した過剩部分であつた。同様に高利資本も亦た、非常に烈しく獨立生産者を搾取したとは言へ、同様な階梯に於ける再生産の基礎を明かに搖がさなかつた。しかしさうであつたればこそ自國の工業資本主義の形成へと導かなかつたのである。

「中間形態を單に指示するだけで十分である。この形態に於ては、餘剩勞働は直接の強制によつて

生産者から絞り取られず、また資本の下への生産者の公然たる屈服も起つてゐない。こゝでは資本はまた直接に労働過程を占領してゐない。獨立生産者は父子傳來の大昔の經營方法をもつて手工業を営み或は農耕を行つてをり、これらの獨立生産者と相並んで高利貸業者或は商人が、即ち高利資本或は商業資本が現はれて、寄生蟲のやうに彼等を吸ひ盡す。一社會に於けるかゝる搾取形態の優勢なことは資本主義的生産方法を許さない。が他面に於て、中世末期に於けるやうに、それは資本主義的生産方法への轉換を成すことが出来る」(資本論第一卷四二四頁)。

譯註 カウツキー版四四九頁、高島譯第一卷第二册、四九五頁。

マルクスは何度も何度もかゝる考へ方に戻つて来る。

「資本論」第三卷一一一一一二頁に於てもさうである。

譯註 エンゲルス版第六版によれば、第三卷第一册三一頁、高島譯第三卷第一册、二八六頁。

「しかもそれ自體として見た(その商業資本の)發展は……一つの生産方法から他のそれへの轉換を媒介し且つこれを説明するには不十分である」。彼は更に續けて言ふ。

「商人資本としての資本独自の著しい發展は、生産が資本の下に屈服しないこと、即ち資本とは無關係な資本から獨立してゐる社會的生産形態を基礎として起る資本の發展と同意義である。かくて商人資本の独自の發展は、社會の一般的經濟的發展とは逆の關係に立つてゐる」(「資本論」第三卷

三二二頁)。

譯註 高島譯第三卷第一册二八六頁。

ヨーロッパ帝國主義列強が支那海岸に暴力的に地歩を確保して、最高發展段階の資本が支那を征服し始めたときには、情勢は一變した。その最重要な過程は次の如くであるやうに思はれる。

(イ) 帝國主義的資本は支那の前資本主義的段階に成立した資本種類即ち商業資本と高利資本とを自己の下に隷屬せしめる。階級的にはこのことを意味する。即ち不勞所得を収めてゐる。支那支配階級の極めて種々雑多な要素、即ち國家官僚・郷士・商人・銀行家・高利貸業者が、直接或は間接に多少の程度の差こそあれ外國資本に奉仕せしめられること、また全支配階級が「買辦」の性質を帯びるに至ること、これである。

言葉の狭い意味に於ての買辦とは、外國商品の買手でもあり支那原料品の賣手でもあり支那商人と外國資本との間に立つて周旋人の役を勤める支那の富商を意味する。買辦は販賣の周旋をなし、信用賣買に際しては買手の支拂能力に對して(その全額或は三割乃至七割五分の)保證を與へ、商品の買手を探し、一切の營業上の紛議を丸く納める。買附の場合には、彼は各地方の原料仲買人に與へられた信用を保證し、大貿易場に居留せる外國商館と支那内地の商賈との間に關係を結ばせる等等。彼の機能は、部分的にイギリスのブローカーのそれに類似する。彼は通例、極めて少額の固定報酬を受けるに過ぎぬ。彼の主たる所得は規定歩合の手數料から生ずる。彼は通例、その収益を割いて多數の使用

人を雇つてゐる。これらの使用人は對人的に買辦に對して責任を持つてゐるが、外國商館の同意を経
てのみ雇入れらるべきものであり、外國商館の希望によつては解雇されねばならない。買辦は手数料
を通じて「彼の」外國商館(各買辦はたゞ一軒の商館のみの御用を勤める)の繁榮と最も緊密に結びつ
けられてゐる。¹⁰⁾

註10 買辦と外國商館との間の契約の雛形、アメリカの『支那提要』三八八頁所載を見よ。

國土の廣大、人物・言葉・文字の無理解、各省毎に違ふ度量衡と貨幣の種類、ヨーロッパとは違ふ營業
慣習(一切の債務は支那の新年の元旦に決済されねばならぬ)、これらの事情は外國企業にとつて買辦
を不可缺のものとする。買辦なしに——自分自身の地方支店を通じて——直接支那商人と取引關係を
結ぼうとする試みは、通例多大の損失を來たした。僅かに二三の最大の外國商館のみが買辦なしで營
業してゐるに過ぎない。

外國資本が根城を据ゑると共に、支那商業資本は外國資本に仕へることになる。支那商人は輸出商
館のために農民から茶・煙草・豆・絹等を集める。彼等は資本力に於て外國人よりも遙かに弱く、また
後者は征服者として特權を享受してゐるから、支那商業資本は外國資本に益々依存するに至る。同様
に支那の銀行資本及び高利資本は外國銀行資本、就中イギリス銀行資本の持つ支那の大銀行に依存す
る。

しかし郷士や以前の官僚貴族も亦た、外國資本と支那農民との間に——後者は消費者であり且つ最

初の原料供給者であるから——出來上る齒車機械に引き込まれる。官吏或は農村に定住する郷士の權
威は取引を圓滑にする上に効果があつて——彼等はその働きに對してそれ相當の謝禮を受ける。かう
して全支配階級は買辦的性質を帯びるのである。

(ロ) 支那は一つの帝國主義強國によつて植民地化されたのではなく、相互に激烈に争ひつゝある
數多の列強(イギリス、日本、フランス、アメリカ)によつて、植民地化されたのであるから、帝國主
義列強間の諸對立は、その各々と結びついた部分の買辦ブルジョアジーの上に移植される。帝國主
義的諸對立は支那ブルジョアジーの内部に於ても存続し、之を分裂させ統一階級としての支那ブル
ジョアジーの成立を困難ならしめる。¹¹⁾

註11 帝國主義列強間に於ける支那市場争奪戦が如何に烈しいかは次の表が示してゐる。

纖維製品の輸入價額には、輸入價額の百分率で次の諸國が参加してゐる(『支那提要』七九頁)。

	一九〇二年	一九一三年	一九二三年
イギリス	五五・三	五三・三	三五・二
日本	二・七	二〇・二	五一・〇
アメリカ合衆國	二六・八	八・〇	〇・〇二
その他の諸國	一五・二	一八・五	一三・八

日本は、反帝國主義革命の以前に於て既に、アメリカ合衆國を根こそぎに、イギリスを四〇パーセント方、
支那纖維市場から驅逐してゐた。

支那革命の諸根本問題

他方に於て支那の外國貿易總額に對するアメリカの分け前は百分率で次の通りである(『支那提要』四三頁)。

一九〇四年	一九一三年	一九二三年
九	七	一七

このやうな大變動は、當該外國資本と結びついてゐる個々の買辦—ブルジョア—の利害に直接關係して、このブルジョアの上に分裂的に作用せざるを得ないことは、容易に理解し得るのである。

支那に於ける現在の販路爭奪戰については無數の報告がある。我々はこれ以上それに深入りしたくない。

(ハ) 支那資本は獨力をもつて商業資本及び高利資本からの轉換を遂行し得なかつたが、この轉換は外國資本の影響の下に、この資本と結びついて遂行されつゝある。この過程は外國資本一般の侵入よりも遙かに遅れて始まつた。最初の近代的工場は、開港場都市に於て發生し外國資本によつて建設された。工業化は大戦中及び大戦直後急速な歩調をとり、それから平調となり、最近數年の内亂の結果退歩を示してゐる。¹²⁾

註12 支那の機械輸入は次のやうな姿を示してゐる。

年次	百萬海關兩	アメリカ・セントによる海關兩の相場	百萬弗
一九一三—一六	七・二五	七〇	五・五
一九一七	六・五	一〇三	六・七

一九一八	八・三	一二六	一〇・二
一九一九	一五・五	一三九	二一・五
一九二〇	二四・六	七六	一八・五
一九二一	五八・八	七六	四四・七
一九二二	五一・五	八三	四二・八
一九二三	二八・六	八〇	一八・九

アメリカの物價水準の變動を考慮に加へれば、實質的に他を抜いた最大の機械輸入は一九二三年に於てであつた。それ以後機械輸入は絶えず低下した。惜しいことに我々はこの統計に續く部分を持つてをらぬ。しかし右の傾向は次のことからして明かである。

一九二七年九月二十七日の『極東評論』Far Eastern Review の算定(一九二八年一月四日の『日刊新報』Bulletin Quotidien に引用されてゐる)によれば、支那の機械輸入について次の數字が與へられてゐる。

一九二三年	二・九四百萬弗
一九二四年	九・一一
一九二五年	一・三八

明かにこの統計はアメリカの統計が計上した或る種の品種を計上してゐないが、しかし右の傾向は明白なやうである。

資本主義的工業の發展は支那に於ては多大の障礙に當面する。無制限な搾取に身を委せる非常に低

廉な労働力の過剰は、技術的改良を無用ならしめ、極めて原始的な労働の種類、例へば苦力による大量財の運搬等を残しておく。だから支那工業は一切の可能な生産形態の多彩な様相を呈する。最新式の機械を備へる全然近代的な工場と相並んで、古い種類の工場手工業前貸制度による家内工業がある。もう一つの障碍は帝國主義列強の優越な地位である。工業企業は外國資本によつて支那自體のうちに創立されたとは言へ、今日まで(その外國資本の)諸母國の工業の利害の方が決定的である。このことは何よりも先づ關稅政策に現はれてゐる。周知の如く、支那の關稅政策及び關稅行政は國際列強の掌中にある。これらの列強は、關稅が商品の名目價値の五若しくは七・五パーセントを越えてはならぬと定めてゐる。この稅率では、支那の新工業は、労働者を無障碍に搾取したところで、到底大工業國と競争を行ふことはなかなか出来ない。¹³⁾更に國內産業資本にとつてもう一つの不利益は國內關稅即ち釐金である。こゝに國內産業の一つの明白な危害が生ずる。輸入商品はその價値の二・五パーセントの料金を納めて所謂「子口單」Transit-passの交付を受け、あらゆる釐金の支拂を免れて支那の隅々までも運送され得る。國産商品は一々の國內關稅線に於て釐金を支拂はなければならず、往々十回乃至十五回に及び、ためにこの國內關稅は往々商品原價の二倍に上ることがある。¹⁴⁾

註13 次表は商品價値の百分率で平均稅額を示してゐる。

	織維品	鐵及び製品	機械器具	一切の部類
ベルギー	一四・一	一一・四	一三・二	一一・四
デンマーク	一四・三	八・八	七・一	一三・二
ドイツ	二四・〇	一六・九	一〇・九	二〇・八
フランス	七〇・六	一一〇・〇	三八・九	五八・一
イタリー	一八・六	六〇・七	二五・四	二八・六
ユーゴスラヴィア	二九・九	四一・一	二二・八	三四・八
オーストリア	一四・六	三〇・八	二五・六	一九・二
ポーランド	四九・六	五六・三	四一・六	四三・三
ルーマニア	二九四・三	三九・六	二二・九	九八・四
スウェーデン	一八・六	二二・八	一五・五	一九・五
スイツツル	一〇・九	二九・七	一二・五	一七・五
チエコスロヴァキア	二六・八	五三・三	四六・二	三六・四
ハンガリー	二九・八	四九・二	三三・〇	三一・一
支那	五十七・五

(ウィーン商業會議所の世界經濟會議提出書、一九二七年九月九日の『ヴェルトシャフツデーインスト』
Wirtschaftsdienst 所載)。

註14 『北京天津間で納稅額は既に一二・五パーセント、^{カルガン}略爾汁(張家口)(毛皮・鞣皮・羊毛その他蒙古の生産物の取引上重要である)天津間で六〇パーセントに上る。それは多くの種々雑多の稅の集まつたものであつ

て、これらの税はその時々、軍事的権力者の御都合次第である。

法律上の立場からは、各外國輸出商は、豫め輸出港に於て、輸出のために買附ける旨の説明書を書かせさへすれば、勿論これらの税の支拂を拒絶することが出来る』(一九二七年九月十六日『フランクフルト新聞』Frankfurter Zeitung 所載同社北京通信員の通信)。

(ニ) 支那、ブルジョア、アジイは全體として非常に貧乏である。支那ブルジョアアジイの一切の層の財産は何よりも先づ『生産せられた生産手段』にあるのではなくて、土地に、即ち農民搾取の上に、地代の上に有する單なる権源にある。私有の富は、民族の古い文化に相應して、何よりも先づ寶石・彫刻・手織・絹布・骨董類等の工藝品から成つてゐる。つまり容易に資本に轉化し得ない物から成つてゐる。(支那には金鑛がないため蓄藏形態は銀以外には何よりも先づ工藝品となる)。數千年來集蓄された餘剩労働の存續形態は、堤防・運河・萬里の長城及び無數の社寺僧院である。生産的資本として存在するものは僅かであるが、その僅かなものは大部分外國人の所有に屬する。支那ブルジョアアジイの所有に屬するものは極く僅かで言ふに足りない¹⁵⁾。

註15 一九二七年十一月二十八日の『商業報告』Commercie Reports 所載の次表はアメリカ合衆國の富裕と支那の貧乏との間の興味ある比較を與へてゐる。

面積(平方哩).....	アメリカ	支	那
	三、七四四	四、二七八	
人口.....	一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	單位で表はす
鐵道線路(哩).....	二五〇	七	
自働車道路(哩).....	五〇〇	五	1
自働車.....	二二、〇〇〇	二二	
電話.....	一七、〇〇〇	一〇〇	
電信線(哩).....	一、八五〇	八四	
發電所、發電能力(キロワット).....	一四、〇〇〇	二五〇	
製鐵所生産能力(噸).....	四五、〇〇〇	五〇〇	
綿絲紡績鍾數.....	三七、〇〇〇	三、五〇〇	
綿布織機.....	六五〇	二六	
石炭生産高(噸).....	五八五、〇〇〇	二五、〇〇〇	
棉花生産高(噸).....	一五、〇〇〇	二、五〇〇	
小麥生産高(ブシエル).....	八〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	1
米生産高(ブシエル).....	三四、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇	1

(1) は推定額。 (イ) は譯者の訂正したもの

我々は次の點を知る。即ち支那人口はアメリカよりも三倍乃至四倍も多く、この人口はその不可缺の食料品たる米を除けば、皆僅かにアメリカの十分の一乃至百分の一の生産手段を保有してゐるに過

ぎなき。

産業的「國民」ブルジョアジーのこの貧乏は彼等の弱さを説明する。貧乏なるが故に彼等は已むを得ず、ありとあらゆる形式に於て外國ブルジョアジーと共働し、この共働に當つて彼等は自然後者に依存する破目に陥る。國民ブルジョアジーがその弱さにも拘らず國民黨の指導權、反帝國主義的國民解放運動の指導權を握つてゐることは、次のことから説明される。即ち國民ブルジョアジーが經濟的に最高の發展段階——それこそ産業資本——を代表してゐること、國民ブルジョアジーが極めて緊密に小ブルジョアジー及び近代の智識階級と結合してゐること、——そして國民ブルジョアジーが支配階級のあらゆる層のうちで獨り外國資本に對して直接的に對立してゐることこれである。¹⁶⁾

註16 國民黨の綱領(一九二六年十月廣東大會にて可決)はその經濟的要求に於て完全に、産業ブルジョアジ

の利益に適つてゐる。その最重要な諸點は、

保護關稅、關稅自主權。

産業に對する政府の保護、即ち補助金、租稅輕減。官廳はその註文に際して支那人の企業を優先的に認む

べきこと。

外國人企業の特權の撤廢

釐金の撤廢

統一的租稅制度、任意課稅廢止

統一的爲替相場、度量衡

鐵道・道路・港灣の築造、治水事業等。(『支那年鑑』China Yearbook一九二八年、一三四五頁)。

(ホ) 産業的國民ブルジョアジーは決定的瞬間に於て、國民革命を裏切つて、帝國主義者の陣營に轉つて行つた。この裏切りの原因は單に國民ブルジョアジーの貧乏と弱さだけでなく、單に彼等が外國資本に金融上依存してゐるだけではない。¹⁷⁾ 最も重要な原因はもつと深い所にある。

註17 對國民革命の鬭争上に於けるイギリス・ブルジョアジーの最も効果ある武器の一つは、信用の引き揚げ、銀

行閉鎖であつた。(廣東に於てイギリス租界襲撃後の漢口に於て等)。

あらゆる植民地乃至半植民地ブルジョアジーの状態は軋轢的傾向を含む。植民地ブルジョアジーとしては、彼等は外國支配の打倒といふ點に於てその國の一切の勞役者と共通利害を持つ。ブルジョアジーとしては、彼等は階級支配そのものゝ維持といふ點に於て、帝國主義ブルジョアジーと共通の利害を持つ。彼等は國民的・反帝國主義運動がブルジョア的性質を帯びてゐる限りに於てのみ、またこの運動が社會的反資本主義的運動に轉回しはじめない限りに於てのみ、この運動の先頭に立ち得るのである。然るに支那國民革命はブルジョアジー倒崩の問題が隨所に事實となりつゝある資本主義沒落期に起つてゐるが故に、更にまた前述の根據からして支那に於ては共同的ブルジョア農業革命が不可能であるが故に、従つてまた支那農民勞働者大衆はブルジョア革命の埒内を超えて出るスローガンによつてのみ國民革命に動員され得るが故に、國民ブルジョアジーにとつては國民革命の先頭に立つこ

とは不可能であり、彼等は革命を裏切らざるを得なかつたのである。ブルジョアジエの裏切りとともに、彼等の黨たる國民黨も亦た國民的勢力中心としては終極的に没落した。國民的・反帝國主義的闘争に於けるヘゲモニーは支那プロレタリアートの手にしてその前衛たる支那共産黨に移つたのである！

註18 我々が半年前に支那の同志から、國民黨がもはや革命的勢力として存在せざるに至つた旨の情報を受けたとき、我々は最初はこれを疑つてゐた。まだ數ヶ月前に支那大衆が歡呼をもつて迎へた黨があらゆる影響力を失つたとはどうしてもあり得ないやうに思はれたのである。それ以後資本主義側の無数の情報がこの事實を確證した。

例へば一九二七年十一月二十三日の『タイムズ』Times 紙は書いてゐる。『國民黨は完全に分派に分裂し、それらの分派は野心満々たる軍閥や政略家によつて指導されてゐる』と。

十一月二十五日、『タイムズ』長沙特派通信員は書いてゐる。『國民黨運動の熱火は燃え盡し、社會改良の綱領の如きは、經濟關係がこの種の計畫を不可能ならしめない場合に於てさへ、これを遂行しやうとする一片の熱情も残つてゐない』と。

『日刊新報』は支那の事象について常に非常によい情報を得てゐることを示すものだが、同紙は十二月二日にかう書いてゐる。

『國民黨がもはや單に空名としてのみ存在するに過ぎないこと、或は高々相互に抗争しつゝある個々の小集團たる状態にあること、それは今となつては殆んど完了した事實 fait accompli である……』

國民黨解體の理論的原因が何であらうと、その解體は周知の事實である。黨は全く一群の軍閥的な小屠殺者の手に引渡された。これらの屠殺者は舊督軍に比して、たゞより無智であり、より大なる野心とより低級な恣意を持つ點が違つてゐるに過ぎない。これら屠殺者の兵士達はたゞ喰ふためにのみ戦争し、そして彼等は曾つて給料の支拂を受けないので喰ふためには掠奪するのである』と。

三 資本主義的發展と支那國家の瓦解

支那に於ける資本主義的發展は、資本主義が統一力として作用したヨーロッパとは反對に、支那國家の瓦解と中央政府の滅亡とに導いた。

我々が今日見る状態は、支那國家が瓦解して、個々の將軍の權力地域——それは目まぐるしく境界を變じつゝある——となつた状態である。

この現象の原因は何であるか？

革命前に存在した支那中央政府は、あらゆる階級社會に存した任務、階級支配の維持といふ任務の外に、若干の一般的機能を持つてゐた、そしてそれは

- 1 外敵防衛
- 2 水利經濟の保全
- 3 米穀倉庫網による食糧品供給の管理

支那革命の諸根本問題

1 外敵防衛の機能に於ては、支那政府は帝國主義列強と接觸するに至つて以來常に無能を繰返した。全然舊式な戦争技術の結果、比較的には非常に小さいながらも近代的に武装してゐる帝國主義者軍隊とのあらゆる衝突は、支那政府の敗北に終つた。かゝる事情の下にあつては、政府はその權威を失墜せざるを得なかつた。支那國家はアジア的性質を有し、この國家に於ては宗教的色彩を帯ぶる傳統が非常に大きな役割を演じてはゐても、かゝる屈辱的敗北は全制度の上に破壊的に作用せざるを得なかつた。

我々は既に、帝國主義の侵入によつて生じた支那支配階級間の分裂について述べておいた。この分裂が、支那を抑壓しつゝある個々の帝國主義列強との結合如何によつて國家權力の上に分解的に作用せざるを得ないことは自明である。況んや政府機關は、支配階級出身、就中地主階級出身の官吏、若しくはこれらと一階級を構成してゐた官吏から成つてゐたに於てをやである。

2 中央政府は、自ら嘗めた敗北と帝國主義者による國家財源の押收との結果、支那農業上決定的に重要な水利經濟を續けて管理して行くに必要な財源を持たなかつた。我々は後にこの問題に戻つて詳論する。

3 帝國主義者の侵入により、鐵道の建設により、また支那が世界經濟のなかへ引き込まれたことによつて、外國貿易上新たな道が開かれ、傳統的な國立米穀倉庫制度はもはや維持され得なくなつた。中央國家權力は、帝國主義者によつて打ち敗られつゝ屈服され、全社會にとつて重要なその諸機能を

果し得なくなつた。中央國家權力は瓦解せざるを得なくなり、權力は轉變常ならぬ諸軍閥の手に移つて行つた。

これらの軍閥は傭兵軍を基礎として立つてゐる。資本主義の進出により、農民的及び手工業的生産方法の崩壊によつて、何百萬の人が生産過程から投げ出された。何一つ取柄のないこの人間の大部分が匪賊と傭兵軍とが出来上つたのだか、兩者の差異は極く僅かであつて、一方の形態から他の形態への移行は極めて容易である。傭兵軍の先頭に立つに至つた者は、張作霖や張宗昌のやうな以前の馬賊の頭目か、或は吳佩孚のやうな將軍の古手かである。傭兵軍は勿論、その勢力下にある地域を強奪誅求して生活する。かゝる地域が廣ければ廣いほど、その収入は益々多い。當然の結果として、個々の軍閥の間に、その支配し掠奪する地域の擴大のために不斷の戦争が起る。

その外面的様相はヨーロッパ中世末期の傭兵隊長 *Kondottieri* のそれに酷似してゐる。しかしこれらの二つの現象を同一視するのは全然誤りである。支那國家の瓦解、個々の軍閥の權力の構成は、帝國主義の作用の下に遂行されてゐる。これは次のことを意味する。即ち個々の軍閥は互に鬭争してはゐるものゝ、しかし帝國主義者に對する鬭争を行ひ得ず、多かれ少なかれ帝國主義者の意を迎へなければならず、少なくとも軍閥の各々は一つの帝國主義強國の後援を頼まなければならぬことを意味する。軍閥相互間の鬭争は、帝國主義によつて齎された支那支配階級自體の分裂を部分的に反映し、多くの場合帝國主義列強相互間の覆面の鬭争である。

中世的傭兵隊長とは違つて、支那の將軍連は同時に大資本家である。彼等は原始的蓄積の最も近代的手段を應用する。即ち彼等は農民層の單純な強奪を行ふ。この強奪は極めて高い租税によつて行はれ、その租税は數年分を前に取立てるものである。この農民層の單純な強奪の外に彼等は人民を強奪する。その強奪は、不換紙幣の發行により、銀行所有銀の沒收により、紙幣をもつてする原料品買込みにより（この原料品は外國で金貨と引替へに賣却される）その支配地域に於ける重要商品の取引（絹、阿片密賣等）の獨占化により、最後に鑛山・工場等の資本主義的企業の起業によつて行はれる。もし彼等の權力が十分に長く續くならば、元の馬賊の頭目から國內屈指の大資本家が出來上がる。一切の著名な支那軍閥の巨頭は何千萬といふ財産を掻き集め、その一部を外國貨幣に替へて、租界内の銀行に預金してゐる。（支那）國家の瓦解、地方的軍事の權力形成は、支那經濟の基礎の深刻なる崩壞、同時に原始的蓄積の方法をもつて掻き集められた資本主義的大財産の形成と並行して進行する。

この問題に於ける帝國主義列強の利益は矛盾だらけである。對內的に強力な中央政府の成立は、帝國主義列強がその軍事的優越力をもつてする干渉により、現在よりも少ない危険をもつて支那の搾取と植民地化とを遂行することを可能ならしめるであらう。しかし對外的に無力でありながら對內的に強力な中央政府などといふものは不可能である。さればこそ帝國主義列強が如何に支那統一の促進を誓はうとも、彼等は支那國家の瓦解を助長せざるを得ないのである。このことが事實さうなつてゐることは、國民革命の北方進出に反對して、帝國主義列強殊に日本及びイギリスが何回となく取つた軍事行動がこれを證明してゐる。

しかし支那國家が瓦解して境界も定まらぬ多數の支配地域になることは、統制ある水利經濟を死活的條件として前提する支那農業の特殊事情の下に於て、必然的に全國經濟狀態の破局的な悪化へと導くのである。

四 資本主義の進出による農民層の分解

支那農村人口は、ブルジョア著作家の主張するやうに、決して自己の土地を耕作する單一農民階級を形成してゐるのではなく、古くから——例へ一般的貧窮のうちにあつたといふもの——自作農・小作農及び賃銀労働によつて生活する勞役農民に分れ、その中間には極めて多種多様な中間層がある。農民は古くから地主・高利資本及び國家から最も厳しく搾取され、そのために農民による蓄積はたゞ例外的にのみ、最も富裕な農民に於て生ずるに過ぎず、そして再生産一般は常に同一の階梯に於て絶えず反覆されてゐる。

農民層の階級別については、他の如何なる國に於てもさうであるやうに支那に於ても我々は統計を持たない。しかし種々の個別的な研究があるから、我々はそのうちの一つの研究の結果を一例としてここに再録した。

註19 今日劇烈極まる階級闘争に於て數千の人間が虐殺されてゐるが、この今日に於てなほ、『階級なき』支那社

會といふお伽話が相變らず流布されつゝある『支那年鑑、一九二八年』九三一頁に於て、米人ソコルスキー Sokolski は次のやうに書いてゐる。

『支那には階級闘争はない。そこには何等の階級もない。新たに發生した政治的財産を除いては、大財産もない……職業的に貧窮な乞食階級は例外として、一般的に貧窮もない』等。

西支那大學は一九二六年に五十戸の農家の調査を行つた。この調査は支那の最も富裕な地域の一つで『支那の花園』と名づけられてゐる四川省の成都平原に於て行はれた。この平原は見事に灌漑されてゐる。この灌漑施設は夙にリヒトホーフエン Rhythhofen によつて支那文化の一奇蹟であると記述された。調査されたのは五十戸の農家であつた。そのうち二十二戸は自己の土地のみを耕作し、五戸は自作兼小作、二十三戸は純粹の小作人であつた。混合土地所有(自作兼小作)の五農場といふ數はたださへ、それから結論を引き出すには餘りに少ないから、我々はこの種類をこの再録から除外する。なほ言つておきたいのは、如何なる觀點によつて各個の農場が選出されたかについて我々は何等の報告をも持たず、また我々は二つの種類に於て良好な農場が選出されたと推定すべき根據を持つといふことである。それにも拘らずこれらの資料からして、支那農民層の内部に於ける鋭い階級差別について十分の結論が出て来る。

二十二戸の自作農は平均一戸當り七十三畝²⁰⁾を所有してゐた。之に反して二十三戸の小作人は一戸當り僅かに三十畝の平均地積を持つてゐるに過ぎない。

註20 十六畝は一ヘクターに等し。

家屋の價値は自作農にあつては一、一一四メキシコ弗、小作人にあつては四一〇メキシコ弗と評價されてゐる。

土地の缺乏は地價を高からしめてゐる。自作農一戸當りの土地の平均買價は殆んど一萬メキシコ弗であつて、即ち一ヘクター當り二千メキシコ弗以上、つまり四千マルクに當る。土地小作料もこれに相應する。土地小作料は一畝當り平均十二メキシコ弗に上るが、しかし八、九から十四メキシコ弗の間であり、これは地價の約一〇パーセントに達する。生産手段のための支出は極小である。修繕費を込めて自作農の場合には一年平均十四弗²¹⁾、小作農の場合には平均八弗である。土地を持たない農民或は極く僅かの土地を自作或は小作する農民の存在は次のことから明かである。即ち總ての調査農場は賃労働のための支出を行つてゐるが、自作農は一年平均四五・四弗、小作農は一年一八・三弗である。賃労働収入は、小作農にあつては一年平均五・四弗、自作農にあつては二・七弗である。この平均は、まさにそれが平均であるが故に、勿論虚偽の階級分離の様相を呈してゐる。自作農の僅々五分の一のみが抑々賃からの所得を得てゐるに過ぎないのに對して、極貧の小作農にあつては明かに労働所得が大きな役割を演じてゐる。小作農の五〇パーセントは労働力の賣却によつて一〇弗以上を稼ぐ。なほその外に小作農は更に多く家内工業を營んでゐる。小作農の七九パーセントは家内工業による副収入を得、それは一年最高七〇弗、平均一八弗である。これに對して自作農は家内工業によつて一年平均

僅か七弗を儲けるに過ぎない。財産の相違が平均の取り方によつて如何に甚しく抹殺されてゐるかは、或る一戸の農場が土地の賃貸から八四〇弗の年所得を収めてゐるといふ事實がこれを示してゐる。

註21 いづれも皆メキシコ弗。

しかし小作農の貧困はこれらの抹殺されてゐる數字からも可成り明白に分る。小作農の平均所得は、自家の經營農場に於て生産され且つ消費された生活資料をも込めて、一年七七〇弗に上る。そのうちから次のやうに支出される。

小作料	三四八弗
賃	一八
修繕費及び農具費	一五
肥料	二六
合計	四〇七弗

そこで全家族のために三六三弗の年所得が残る。各々の小作農家族は平均八・三人（そのうち二・七人は成年男子）となる勘定になるから、一人當りの所得は一年五〇弗以下である。この場合租税及び貢納は少しも計算に入れてないのである。

この調査が支那の最も富裕な地方を取扱つてゐること、及び最も貧困な小作農が選び出されてゐないと推定すべき根拠があることを考慮に入れるならば、この資料は、支那全土に押し廣めて考へれば、

小作農の所得がこゝに擧げられた數字よりも更に著しく少ないに相違ないといふ主張に對して幾分の具體的基礎を與へるものである。全然自家の農場を經營せぬ農業プロレタリアートについては勿論言ふまでもない。

資本主義の侵入は農村に於ける階級分離を鋭くし、なほ現存してゐる自然經濟の殘滓の掃蕩を促進し、農民的家内工業の基礎を奪ひ、國內の資本主義的市場を擴大する。

「大工業は農耕と家内の・農村的工業との分離を完成する。この後者の根柢——紡績と機織と——を大工業は根こそぎにする」〔資本論〕第一卷七一西頁。〔譯註〕

譯註 カッツキー版六七七八頁、高島譯第一卷第二冊七四三頁。

原本には次の如くにある。『大工業が起るに及び、それが初めて機械によつて資本主義的農業の不變の基礎を提供し、農民の驚くべき多數を搾取し、そして農耕と家内の農村的工業との分離を完成する。この後者の……云々。』

資本主義の進出による農民層の分解過程は一般に熟知されてゐる。我々はこれ以上この點を取扱ふ必要はない。しかし支那經濟に於けるこの過程の特殊性を把握することは必要である。最も重要な契機は我々には次のやうに思はれる。

註22

レーニンはその著『ロシアに於ける資本主義の發展』（ロシア語）に於て最もよくこれを敘述してゐる。（譯者—邦譯レーニン著作集第八—九卷。特に第八卷參照。）

支那革命の諸根本問題

資本主義の作用の下に於ける農民社會の分解は、支那農業の一般的衰微線に沿うて遂行される。その主要原因は次の通りである。

(イ) 水利經濟の崩壊。支那については——一切の近東及び、中央アジアの諸國家についてと同様に——秩序立つた水利經濟は死活の問題である。水利經濟は二つの任務を含む。第一に、洪水に對する防衛、即ち河川調節である。支那の大河床はその流域に沿うた溪谷の地平面以上に高いから、これは支那に於ては特に重要である。河流は、何千年も前に築かれて何度となく高められた堤防の間をすつと高く流れてゐる。一々の堤防決潰は、現に數百萬の人間を養つてゐる地域がすつかり泥沼に變つて了ふことを意味する。第二に灌漑施設であつて、これは支那に於ける園圃式耕作の基礎をなし、その崩壊は支那農業にとつて破局を意味する。

かういふ風に水利經濟の社會的組織の問題は、支那農業の將來、否支那の全經濟及び全文化の將來にとつて中心的重要さを持つことになる。水利經濟の管理は以前は中央國家權力の任務であつた。ところがそんな中央國家權力は今日はもはやない！如何なる社會的組織が水利經濟を司るのであらうか？

洪水に對する防衛は一つの全流域に對して統一的にのみ行ひ得べきことは明かである。一河流の全體に亘つてではなく、河流の或る限られた一部に於て堤防を強固にするならば、その上流或は下流の個所が決潰するであらう。だから互に戰爭を事とし勢力範圍も定まらず、支配も永續しない幾多の將

軍が一つの河岸を支配して統一的な堤防保護策が實施され得ない場合には、堤防制度の崩壊となり、これに伴つて大洪水が起つてその地方全體が全滅するに相違ない。しかしもつと小さな堤防決潰でも——それはその河流から水を引いてゐる灌漑設備を全滅させることによつて——大被害を生じ得る有様である。

灌漑施設は收約的な支那農耕の基礎の一つをなす。²³⁾灌漑なしでは、收穫は直ちに現在の半分以下に下るであらう。水田の米の收穫は畑のその二倍も多い。灌漑は同一の田地から一年に數回の收穫を可能ならしめる。延々何十萬軒の灌漑用運河は、數千年の作業の結果であり支那平原を縦横に貫ぬいてゐるのであつて、これらの運河は水利經濟の基本的重要さを説明してゐる。水利の獨占の重要さは土地獨占とその價值を同じくする。土地獲得鬭争は多くの場合、同時に或は先づ第一番に用水獲得鬭争である。

註23 北アフリカ及び近東の文化にとつての灌漑施設の重要さについては、マルクス及びエンゲルスに無數の興味深い解説が見出される。殊に一八五三年の往復書簡に於て。(譯者——ペーベル版第一卷四一五、四二〇頁)。

灌漑の社會的組織について言へば、それは一つの水源からどれだけの廣さの地域が水を引かねばならぬかに従つて極めて多種多様である。²⁴⁾私有財産たる井戸による個人的用水供給がある。資本主義的企業による用水供給がある。これは例へばポンプを備付けた發動機船を河上に往來させて用水を販賣し、或は貯水池を築造して一畝當りの灌漑につき何程かの料金を徴収する。しかし各種の社會的・傳

統的形態がある。例へば多数の村落の用水供給が小さな一つの河から共同に行はれるとすれば、供給は山西に於けるやうに村民間の協定によつて規定される。一般的には各村は所定の日數間交替に水利権を行使する。この日數は人口の多寡と耕作面積の廣狹とに従つて定められる。一定の村が河水を利用してゐる期間内は、その村の農民は總て各自の耕地に比例して水を利用する権利がある。山西の農村には時計がないから、用水利用の時間を燈明用蠟燭を燃やして計る。長さ一呎の燈明用蠟燭は三十分間燃えてゐる。十畝を有する農民は二本の蠟燭が燃え盡くすまで用水を利用することが出来、二十畝の土地を有する農民は四本の蠟燭を次ぎ次ぎと燃やしてその間は用水を利用する権利を持つてゐる。これらの協定は數百年來確立されて文書をもつて定められてゐる。關係諸村間に紛議が起ると、村の故老連が何處か一定の寺院に集合してそこで彼等が審判者となつて紛議を裁定する。

註24 我々はこの點に於ては大體、同志マガール Magyur の支那農業問題に關する未刊の著作に従つてゐる。

しかし成都地方に於ける上述のやうな或は揚子江溪谷の下流に於けるやうな多くの灌溉制度は、その維持のために國家の統制的取締を必要とする。²⁵⁾かゝる取締の缺如は既にこの種の施設の非常な荒廢へと導いて來た。もし内亂がこの上何年も續くならば、饑饉の慘狀——現に山東に於けるやうな——は不可避であり、この地域に於ける全文化の没落の危険が迫つて來る。

註25 『東洋に於ては、自由意思による團結を作るには文明が餘りに低度であり面積が餘りに廣い。だからその東洋に於ては、節約的・經濟的な水利利用の無條件的必要が中央集權的政權の干渉を必然ならしめた。そこか

らして、公共事業の要求といふ經濟的機能が生じたのである』(マルクス『印度に於けるイギリスの支配』、『ニューヨーク・トリビューン』紙一八五三年七月二十五日)。

尤も農民層の傳統的・宗教的態度は灌溉制度の維持に當つて依然作用してゐる。成都平原については上述の調査にかう書いてある。

『この偉大な灌溉制度の諸建設者は諸神のやうに崇拜されてゐる。彼等並に用水供給統制に捧げられる祝典はこの平原に於ける民衆の宗教的儀式の大部分を占めてゐる。毎年の墓地の祓ひ、堤防の修理及び地面の高さの調整は宗教的熱意で行はれ、戦争や匪賊に關係なく別個に行はれる改良事業の一典型である。これは、それ以外の殆んど總ての生活部面に於て混亂紛糾を見る人の一人一人にとつて一つの驚異である』。²⁶⁾

註26 『支那經濟雜誌』Chinese Economic Journal 一九二八年一月號、四九頁。

しかし中央政府なくして何時までこの傳統的・宗教的基礎で足りて行くかは疑はしいのである。

(ロ) 灌溉制度と相並んで支那農業の第二の基柱をなすものは、最も用意周到な肥料、經濟であつてこれは家畜を多く飼育しない收約耕作が行はれるにも拘らず、支那の土地の營養分の均衡を可能ならしめて來たものである。植物の榮養となる一切の成分は土地に返される。人糞尿は最も周到に集められ都市から移送される。泥、麥藁、木の葉、あらゆる有機物の廢物、灰、否住宅の壁土等等は、混合肥料に作り上げられ肥料として土地に返される。支那に於いては、ヨーロッパ農業に於て知られてゐ

ないこの一切の廢物の利用によつてのみ、人造肥料を用ひずに數千年に亘つて土地の地味を維持することが出來たのである。²⁵⁾尤も周期的には饑饉があつたが、それは天災(旱魃或は洪水)の結果であり、國內交通手段の缺如の結果地方的凶作を他の地方からの穀物輸送によつて克服し得なかつたからである。(ヨーロッパに於ても鐵道網の建設まで周期的に饑饉が起つたのと同様である)。

註27 このことはキングの名著『過去の時代の農業』King: Forthly centuries of farming 一九二六年第二版に見事に描寫されてゐる。

註28 この場合、あらゆる種類の穀類のうちで米が土地から榮養分を吸收すること最も少ないといふ事實が大きな役割を演じてゐる。

資本主義の發展は、數千年を通じて維持されて來た支那の土地の榮養分の均衡を破壊せんとしてゐる。間斷なき國內戰亂は都市の肥料を田野に搬出することを困難ならしめてゐる。兵火は有機物の成分を破碎する、農業生産物は益々盛んに輸出され、そのうちに含まれてゐる榮養分は國內の土地から失はれたまゝである、等。

(ハ) 傭兵軍による農民の誅求と單純な強奪とは非常に大規模となつて來て、貧しい農民層はもはやその極く僅かな生産手段の現在高即ち耕作用家畜・種子・農具を維持する事が出來ない状態である。²⁹⁾農民は益々プロレタリア化される。(階級)分化は益々尖鋭となつた。しかしそれも全農業の衰微線に沿うて。即ち低下する階梯に於ける傳統的・單純再生産の代りに一般的貧窮化。

註29 『この……物納時代は……勞働諸條件の再生産に、生産手段そのもの、再生産に由々しい危險を及ぼし、生産の擴張を多かれ少なかれ不可能ならしめ、且つ直接生産者を生活資料の肉體的最低限度にまで低下せしめるやうな範圍にも達し得る。これは殊にこの(地代)形態が征服者たる一商業國民、例へば印度に於けるイギリス人の目に止まる場合におけるのである』(『資本論第三卷第二册三三〇頁)。(譯者—高島譯第三卷第二册三三五頁)尙ヴァルガの引用文では『生産の擴張を多かれ少なかれ不可能ならしめ』といふのが『生産の擴張を益々 mehr u. mehr 不可能ならしめ』と誤植されてゐる。

以上が、我々の考へによれば、資本主義の普及をば支那農民層にとつて呪はしいものとする特殊の諸契機である。山東に於ける大饑饉は、通常の支那の饑饉のやうな單純な天災ではなく、その大部分は、支那軍閥中でも最も狂暴な掠奪者張宗昌による殘忍極まる強奪の結果である。『ニューヨーク・タイムス』通信員が一九二八年三月四日の夕刊でこれについて述べてゐた所を聞いて見よう。

『山東省の三分の二は饑饉地域であると公けに報ぜられてゐる。その二千四百萬に上る人口の一部を餓死させないためには、百七縣中の七十縣が外部からの救済を仰がざるを得ない。既に山東省に於ては九百萬人が榮養不良となり、人間の消費に適應せぬ生活資料によつて暮してゐる。四百萬人は乞食となり或は慈善事業による生活資料に頼つてゐる。

……多くの地域に於て收穫は平年作以下であつたとは言へ、饑饉救済に従事しつゝある支那人の言ふ所によれば、昨年山東は、その人口を冬期及び早春中維持するに足る生活資料を收穫したので

ある。しかし彼等は言つてゐる、今日の饑饉は七年前から、即ち非道な政府が益々悪化しつゝあつた期間に準備されたものであると。

人民を強奪する租税や軍隊による掠奪及び没収さへなかつたならば、山東には本年饑饉がなかつたであらう。督軍張宗昌こそはこの状態と方法とについての責任者である。

……張宗昌が一切の支那軍閥中最も非道な最も貪慾な奴であることは、外國人間にも支那人間にも定評がある。……張宗昌は人民を強奪し、彼を支持する者は彼を強奪する。……張宗昌が三百萬弗だけ入用であると決めれば、彼は顧問を招致し顧問は新税を發明する。ところが顧問はこの租税を高く定めて、千二百萬弗が手に入るやうにする。で張宗昌は豫定の三百萬弗を懐にし、その残りは彼の幕僚と顧問連との手に歸する。顧問連はこの徵稅權を『買ひ取つ』て、それからその買上金の何倍かを住民から取立てるのである。

張宗昌の個人的支出は一日五千弗に上る。兵卒一名の維持費は平均一ヶ月十弗である。そして人の噂によれば、張宗昌の閨房の一ヶ月の経費は六千人の戦士から成る一旅團を維持するに足るといふ。

沂州府の北方に在る九縣に於ては、饑饉救濟吏員は半狂ひの一匹の犬の外一つも生き物を見出さなかつたのであるから、一日五千弗に上る右の宮廷費はこの九縣に對し最も尖鋭な對立をなしてゐる。

饑饉は奴隷賣買の急速な復活へと導いた。乞食の境涯にまで成下つた多くの家族はその男の子達を賣り飛ばし、それによつてその男の子達が確實に喰ひ物に有りつけるやうにする。これらの男の子の多くは銅貨五個で賣り飛ばされた。

もつと悲惨なのは白色奴隷市場のためにする少女の賣買であつて、彼女等は十二歳といふ年若さであつてさへ、市場に運ばれる。濟南府に於ては妙齡の少女が五十弗までの身代金で請出される。そして無数の強慾非道な奴等は、饑饉地方に行つて少女を一人當り五弗で買集め、これを今度は濟南府で賣春婦に賣飛ばしては金を溜めるのである。』

農民強奪と饑饉との關聯は、この通信員によつて極めて明瞭に認められてゐる。

『山東省西部の人民は異常に貧困である。「豊年」に於てさへ收穫の剩りは悲惨なほど少ない……この窮乏地方へは、收稅吏が何度も何度も闖入して来る。地租は二倍となり三倍となつた。家屋税も引上げられた。一つ一つの家畜に税がかけられた。それからまた租税は一年後、二年後、三年後の分まで前納で誅求された。』

農民がこれを納め得ないならば、收稅吏は農民からその穀物、その馬匹及び家畜を取上げる。それどころか彼等は、農民の家を毀し、家根を剝がし棟木や梁を崩してこれを薪として賣り拂つた。何萬の人間が文字通り、その先祖傳來の住家からまた彼等の土地から追ひ出された。全諸縣に亘つて今日生き物は猫の子一匹も見當らず、以前一エーカー當り七百五十弗の價値があつた土地は今

日、二十五弗で賣出されてゐる……そして山東省の運命は僅かに歴史の一部分たるに過ぎない。直隸省南部では現に三百萬の人間が饑饉に悩んでゐる。河南省北部では無慮數百萬人が食ふに足るだけの食物を持つてゐない。飢饉に悩む者の數は、今年は山東省と直隸省とで千二百萬に上つてゐる、來年はこの數は、右二省その他二三の省に於て三千萬乃至五千萬に上るやも計られぬ。そしてもし戦争・非政・強奪が續くならば、二年後にはその二倍或は更にそれ以上になるかも知れぬ」。

五 資本主義による都市手工業の解體

資本主義の進出は、世界の到る所に於けると同様に支那に於ても、農業的家内工業の上のみにてなく都市手工業の上にも亦た解體作用を及ぼした。支那に於ける特殊性は——印度に似て——次の點にある。即ち都市手工業の破滅が自國に成立した大工業によつて起つたのではなく、従つて手工業に於てハンを失つた労働力が大工業に於て労働を見出し得なかつたことにある。もし支那に於て印度のやうに定期的人口調査が行はれてゐるならば、我々は支那に於ても亦た工業従事者數が十年目十年目に減少するといふ事實を見出すことであらう。しかし印度に於ては、都市から驅逐された手工業者は何うにかかうにか農業に於て職にありつくことが出来た——イギリス製木綿商品の侵入によつて何十萬といふ印度の亞麻布織工が餓死した時代はそれよりも數十年前のことである——のである。これに對して支那の農業は、上述の諸原因の結果、このパンを失つた手工業者を收容し得ない事情にあつた。生

産から投げ出され完全に掠奪された農民と相並んで、手工業者の大群がその職を放棄しなければならぬ。であるから全く糊口の資を失つた何十萬、否恐らく何百萬といふ大衆が年々盜賊・乞食・兵卒の群に加はり若しくは滿洲か蒙古へ行つて新しい生活の途を探し求める。北支那から滿洲へ、蒙古へと向ひつゝある民族移動は、その規模に於て、遙かに古典的民族移動を凌ぎ有史以來の最大民族移動の一つである。

手工業の没落は、手工業より工場手工業への、若しくは手工業者を前代未聞に搾取する資本主義的前貸制度への、部分的轉換と結びついてゐる。我々は唯一の具體的な例を擧げておかう。

劉 D. K. Lieu は浙江省に於ける編物細工業の狀態を次のやうに記述してゐる。『支那新聞』The China Press 一九二七年七月二十七日)。

『一九二六年の初め同地には數萬の編物機械があつた。元來はこの工業は大手工業的工場に結合されてゐた。然るに需要が激増し而かも工場には新しい労働者を收容する餘地がなかつたので、機械は労働者の住宅に配分された。原料たる絲は工場が渡す。機械は一臺二十弗である。労働者は機械賃借料を毎月二弗支拂はなければならぬが、これは工場にとつて非常な儲け仕事であつて、誰か千臺の機械を所有してゐる者は、機械の賃貸だけで毎月二千弗の所得が入る。労働者はどうかと言へば、この施設は彼等にとつても好都合である。彼等はそのパンを稼ぐ傍ら、家事を見ることが出来、彼等の毎月の所得は機械賃借料を差引いて約五弗になる——家庭で労働する婦人にとつては相當な

稼ぎであり、況んやこの労働を習得するには少しも時間が要らなう』。

我々が見る通り、機械を貸す資本家は七弗の毎月の稼ぎの内から毎月二弗を取り去るから、彼は十ヶ月後には機械の原價を全部支拂つて了ふことになる。これはヨーロッパ資本主義の最も暗黒な當初の時代にも曾つてなかつたほどの搾取である。資本主義的前貸人の手に落ちた他の多くの工業部門に於ても事情は似たものである。

六 労働者階級の状態

支那に於ける労働者階級の状態、總じて一切の勞務者の状態に對しては、マルクスが一八七〇年代のドイツについてなした特徴づけがあてはまる。

『……それ以外の全西ヨーロッパ大陸に於けると等しく、たゞ單に資本主義的生産の發展だけでなくその發展の缺如までが我々を苦しめる。近代の窮迫状態と相並んで、遺傳された窮迫状態の全系列が我々を悩ます。この後者は、時世に逆行する社會的・政治的諸關係を引き連れてゐる古代的な時代遅れな生産方法の存命から發生する。我々はたゞ單に生けるものによつてのみでなく、死せるものによつても悩まされる』(『資本論』第一版序文³⁰⁾)。

註30 カツツキー版第一卷序文三七頁、河上宮川共譯岩波文庫『資本論』第一册一二頁、高島譯第一卷序文六頁。支那に於ては事實、最も困難な前資本主義的厄災と資本主義的苦惱とが合流してゐる。支那プロレ

タリートの戦慄すべき労働状態、一日十四時間續く労働時間、毎週休日の缺如、支出した労働力の補填を不可能ならしめる低廉な賃銀、これらは一般に知られてゐるところである。特に新しい資料を掲げるほどのこともない。國民革命の上向期に於ける労働争議は或る種の些細な改善³¹⁾を齎したが、しかし反革命勢力の大同團結によつて爾來再び逆戻りさせられたものゝ如くである。農業及び手工業に於ける數百萬人の過剩によつて、工場工業には労働力の供給が夥しく押寄せ、ために資本家は、イギリスの綿絲紡織業者が昔やつたやうに、毎年新しい世代の労働婦人と兒童とを搾取し彼等の労働力を強烈に絞り出し、かくして彼等をして長年月に亘り或は一生涯その労働力を喪失せしめることが出来る。しかし用ひ盡された労働力の補充は常に有餘つてをり飢餓に對する闘争は不幸な労働者を強要してその労働力の最後の一片をも自分自身のなかから引き出さざるを得ざらしめる。

註31 日本帝國主義者西山教授の慨嘆は明かにこの時期に關したものである。一九二七年十一月二十二日の『日刊新報』紙上に彼の所説の一節が轉載されてゐる。『我々は皆あの支那を知つてゐた。その支那は、その低廉な物價と、低廉な賃銀と、負擔の軽いその租税とまたその厩大な資源とによつて有名だつた支那であつた。ところが今日これらの總てはもはや存在しないか或は作用してゐない。これたゞ國民黨一派の非道な政府のせいである』。

だからこそ駐支アメリカ商務官アーノルド J. Arnold は『支那提要』二六九頁でかう斷定する。『支那労働は、その費用を考慮に入れれば、能率的 efficient である。労働の價格の低廉なるに拘

らず、この點について深い經驗を持つ外人は、支那労働者が適當なる指導の下に置かれた場合の彼等の能力の良好なることを熱心に enthusiastic 辯じらるる』。

支那の農民層及び手工業の解體の續く限り、また年々數十萬・數百萬の人間が生産過程から投げ出される限り、改良主義的な道によつて支那プロレタリアートの状態を何とか改善しようとしてもその見込は斷じてない。それは自明である。

上述の米國人は常に支那民衆の友であるかの如く装うてゐるあの帝國主義強國の代表者だが、彼の次の所説は帝國主義者の見解の特徴を示してゐる。

『支那にはまだ何等の労働法もない。支那の經濟生活に於て實效ある兒童労働保護方策を行ふことは時期早尙である。色々な點に於て、兒童はその家庭に於てよりも、工場に於てより、良く保護されてゐる』。

支那プロレタリアートの状態の改善がたゞ革命的な道によつてのみ可能であることは明かである。

七 支那に於ける本位の混亂

支那に於ける勞役者強奪手段の最重要なものゝ一つは支那に於ける一切の本位を減價せしめることである。(支那に於ける) 状態の特質は一つ一つの階級が言はば銘々の本位を持つてゐるといふことにある。

(一) プロレタリアートの本位は銅貨である。約二十年以來、私立及び省立の造幣所は銅含量の段段減じる銅貨を鑄造してそれが大量的に流通したが、それによつて銅貨幣の購買力は絶えず低落しつつある。労働市場が過剩労働力の洪水を起しつゝある現状にあつては、このことは勞賃の不斷の減少を意味する。

(二) 都市及び農村小ブルジョア層の本位は銀貨である。然るに世界市場に於ける銀の価格は絶えず低落し、支那が力強く世界經濟のうちに引き込まれれば引き込まれるほど、この銀の價格低落は愈々力強く支那自體に於ける銀貨の相場に作用する。(なほその外に大規模な銀貨鑄造も行はれてゐる)。だから資本家層による小ブルジョア層の搾取が生ずる。前者は外國の本位によつてその營業を行ひ若しくは價格を定めておく。銀貨は各省毎に純分を異にし重量を變ずるのであつて、かゝる銀貨は莫大な利潤と偽購との機會を高利金融業者に與へてゐる。

(三) 資本家——外國並に國內の——は彼等の營業の基礎として銀の世界市場價格を用ひる。つまり彼等は事實上金をもつて勘定し、固定的爲替相場で外國に向つて物を賣り、かういふ風にして——人も知る通貨膨脹經濟の機構に相應じて——減價しつゝある本位で依然勘定をしてゐる下層人民層を犠牲として富みつゝある。

(四) 最後に軍閥は、強制通用力を持つ無價値の紙幣の發行によつて人民を強奪する。支配者の交替する毎に、從來流通した紙幣は通用を停止され、發券銀行の保有銀——もしまだあれば——は強奪

され、新紙幣が商人や手工業者に無理に押し付けられる。兵士達は店で大きな紙幣で僅かな買物をし、武器を手にして剩り錢を銀貨で要求する。商人が賣つた品物の無代進呈を哀願しても勿論兵士ははねつける。だから支配者の交替する毎に一切の店を閉鎖し商品を隠すことは、今日商人や手工業者達の一般的な習慣となつてゐる。

しかし滿洲及び北支那に於ける張作霖の支配のやうに、軍閥の支配が相對的に安定せる地域に於てさへ、紙幣の減價は進行しつゝある。

かくして我々は、貨幣制度の領域に於て完全なる混亂を見る。この混亂は、さなくとも最低限度にある勞役者の所得をば弱肉強食的なほ一層減少せしめる手段として役立つてゐるのである。

八 客觀的・革命的情勢と今後の發展の展望

我々の分析の結果として、我々は支那經濟の基礎の瓦解を、支那社會の最も深刻な危機を確かめ得た。資本主義の侵入は——天災を暫く措くならば——少なくとも單純再生産を基礎とする社會の成立を確保した傳統的社會制度を破壊した。その經濟的基礎をなしたものは、水利經濟と農地營養分の均衡の上に築かれ、且つ農村的工業と緊密に結びついた農民的農業であつた。この基礎は今日瓦解しつゝある。水利經濟は棄て、顧みられない。土地はその取り去られた榮養分を全幅的に取り返してゐない。農民は、工場製品の侵入によつてその家内工業の副収入を失ひ、小作料・高利貸・通貨膨脹によ

つて重い負擔を負ひ途方もない重税によつて完全に破滅し、その最少限度の生産手段を奪はれて、土地なく故郷なきプロレタリアへと大衆的に轉化せられつゝある。何百萬の農民は賃労働へと押し寄せ、農村の無賴漢・盜賊・傭兵となりつゝあり、何百萬人は餓ゑつゝあり、何千萬人は暴動を起す。同様に廣汎な都市手工業者大衆は生産過程から投げ出されて暴動を起す。

生活手段を收奪されて稼ぎ口を探し求める何百萬人の農民及び手工業者は、たゞさへ過剰なプロレタリアートの列伍を膨脹せしめ、常に飢餓の境に立つ恒久的失業者大衆を作り、全労働者階級を最も暗黒な貧困へと突き落す。

支那社會の最も深刻なこの危機を解決するにはどんな可能性があるか？ 抽象的・理論的には五つの可能性がある。

- 1 反動的解決、即ち前資本主義的社會秩序への復歸。これが太平革命の意義であつた。この解決は現實には不可能である。我々はこれ以上これを論ずる必要なし。
- 2 國民的ブルジョアの解決、即ち帝國主義者との闘争に於て勝利を勝ち得る國民ブルジョアジエの獨裁。日本型、トルコ型。かゝる解決は、地主・軍閥・帝國主義者に對して農民と國民ブルジョアジエとが共同に闘争するときのみ可能であるであらう。しかし國民ブルジョアジエは貧乏で弱い。彼等自身その財産の一部を農地に投下し、地主階級と緊密に融合され、高い小作料の維持に利害關係をもち、高利による農民階級の絞り取りに参加してゐる。他方に於て彼等は外國資本に屈從し、同時

に支那を征服せる個々の帝國主義ブルジョアジーの特殊利益に對應して内部的に分裂してゐる。最後に彼等は工業プロレタリアート自身の要求と叛亂とに對して軍閥と帝國主義者とに保護を求めざるを得ない。さればこそ彼等は反帝國主義的國民革命の事業を裏切らざるを得なかつた。従つてこの第二の解決の可能性もない。

3. 半植民地支那より植民地支那への轉化。類型は印度。我々はこの可能性をもつて、どうも有りさうではないが全然あり得ないものと考へない。支那民衆が、軍閥相互間の果てしない戦争と恐らく決定點に達せずになたに波打つ長い間の階級戦とに疲れ果て、遂に外國の征服者——印度に於て起つたと同様この征服者は秩序を立てる——に屈服しないと限らぬことは、全く有り得ないとは言へぬ。帝國主義列強にとつては、支那市場の外國商品吸收能力が減するにつれて支那占領の衝動が益々強くなるのである。³²⁾

註32 外國貿易の状態は次の資料が示してゐる(單位百萬)、『支那經濟雜誌』一九二八年九九頁。

輸入(海關兩)……………	五五五	七六二	九四五	一、〇一八	九四八	一、一二四
同(アメリカ弗)……………	六九九	九四四	七八四	八二五	七九六	八五四
同(一九一八年の弗の購買力を一〇〇とす)……………	六九九	八六八	一、三〇五	一、三六一	一、三四五	一、六六五

一九二七年には著しい激減が起つた。數字はまだ公表されてゐないが、それでも關稅收入は七千八百萬兩

(一九二六年)から六千九百萬兩(一九二七年)に減少した。磅で表はせばこの減退はなほ著しい(兩が減價したのである)。即ち千二百二十萬磅から九百七十萬磅となり二〇パーセント減退した。この場合注目すべきは、支那本土への輸入が著しい減退を示し、それが滿洲の吸收能力の増加によつて相殺されてゐることである。北方の開港場ハルビン・大連・天津の關稅收入は百七十萬兩の増收を示し、之に反して上海は七百萬兩、漢口は二百三十萬兩、廣東は千五百萬兩の減收を示してゐる有様である。

一九二八年には、支那に於ける外國商品の賣行に關する最近の情報は可成り有利である。とは言へこの場合、廣汎な地域が内亂によつて長い間輸入港との連絡を絶たれてゐたため、一時に切迫的な需要が集まつたことを注目しなくてはならぬ。

さりながら我々が忘れてならぬことは、印度の植民地への轉化が二世紀以上を要したこと、この轉化が資本主義の上向期にあつたこと、及びこの轉化が當時の唯一の覇者たる世界的強國——イギリス——によつて遂行されたことである。これに對して支那の危機は既に餘りに深く進行してゐる。だからこれを一步一步占領して行く暇もない。支那の領有を目指して四つの帝國主義列強——イギリス・日本・合衆國・フランス——が格闘してゐる。支那を全部又は一部領有しやうとする或る一つの強國の企圖は容易に新世界戦争へ導かぬとは限らぬ。支那の共同占領及び分割のための聯合は、まさに帝國主義列強間の尖鋭な對立の故に、全く見込がない。アジアに於ける發展線は植民地の解放を目指してゐるのであつて、植民地支配の擴大を目指してはをらぬ。

4 闘争しつつある諸階級の共同没落と物質的基礎即ち水利經濟の破壊による支那の全物質的・精

神的文化の滅亡と。類同型はアジアの歴史に於ける多数の偉大な文化の没落。かゝる終局は可能ではあるが、しかし起りさうにもない。支那本土の境界外（満洲・蒙古・南方アジア）に住む支那人の多数と支那自體に於ける革命運動の偉大な力とはかゝる終局の有り得ないことを物語つてゐる。

5 勞、役、者、即、ち、勞、働、者、農、民、手、工、業、者、の、プ、ル、ジ、ョ、ア、民、主、義、革、命、の、勝、利。³³⁾これこそは危機の唯一の現實的な解決である。アジアに於ける一般的发展はこの線に沿うて進行する。それは、ロシアに於て既に行はれた資本主義的支配の倒壊——これは資本主義制度一般の終焉の端緒を意味する——によつて支持されてゐる。この革命的解決を目指して支那×××××は活動しなければならぬ。萬國のプロレタリアはこの點に於て彼等を支持するであらう。この革命は進行中である。この革命は一時的に敗北を蒙ることも有り得る。その終極的勝利は、我々が餘りに大きな誤謬を犯さないならば、確實である。

註33 諸階級の與へられた發展狀態に於ては、今の所勞働者農民の共同支配が問題となるのみであつて、プロレタリアートの獨裁は問題とならない。

資 料

中國土地調査 (資料第一)

—この『中國土地調査』は一九二六年中國々民黨土地問題委員會第三次擴大會議の討論の基礎となれるものである—

(一) 全國農民總戸數は五六、〇〇〇、〇〇〇戸(地主を含む)にして、各戸平均六人を以て計算すれば農民總人數は三三六、〇〇〇、〇〇〇人である。上の數を百分の八十を農民とする比例を以て計算すれば中國の全人口は四二〇、〇〇〇、〇〇〇人である。若し此の數は確實なるものであれば、上の農民數は確實なるものである。(これはロシア同志及び他の外國人の調査に依るものである)

(二) 中國全面積のうち、既に耕作せる土地は只だ百分の十五のみである。東南沿海數省の人口は今や可耕の地積に超過して居る。上東を以て論ずれば、一英畝(中國六畝に當る)に六百人が住んで居る。爲めに地價及び地租は甚だ高い。人口の多いこと、土地の狭小なること及び地租の高いことの爲め、農民の金を有するものは只自分の生活費及び地租を支拂ひ得るのみにして、農業の技術を發展させる力を持たない。爲めに技術は甚だ低い、生産衰落の危険は既に現はれて居た。

(三) 三三六、〇〇〇、〇〇〇農民の中、
(一) 土地を有する農民(一畝を有するものより大地主まで)數は一二〇、〇〇〇、〇〇〇人乃至一五〇、〇〇〇、〇〇〇人の間に在る。

(二) 土地を有せざる雇農(傭農)は三〇、〇〇〇、〇〇〇人で、游民、土匪、兵士、一定の職業無き者及び郷村の小商人は約二〇、〇〇〇、〇〇〇人である。

(三) 農民總人數三三六、〇〇〇、〇〇〇人のうちから、土地を有する農民一五〇、〇〇〇、〇〇〇人と土地を有せざる雇農三〇、〇〇〇、〇〇〇人と游民、兵、匪等二〇、〇〇〇、〇〇〇人とを減すれば餘り一三六、〇〇〇、〇〇〇人即ち土地を有せずして他人の土地を借り受けて耕作する個農(小作人)である。

(四) 上の統計に依れば土地を有する者は農民總人數百分の四十五を占め、土地を有せざる個農(小作人)雇農(傭農)游民等合計一八六、〇〇〇、〇〇〇人は農民總人數百分の五十五を占めて居る。

(五) 之を以て農民の多數が全然土地を有せずして土地を取得せんとするを要求すること、且つ土地を有する農民のうち、彼等の多くは自分の持つて居る土地の餘り狭小なる爲め、矢張り土地を要求することを知る。

(四) 土地を有する農民(農民總數百分の四十五を占める)のうち、更に表を以て其の詳細を示せば次の如くである。

貧 農	畝 數	人 數	占有地
(一)	一一一〇	百分の四四	百分の六

(一) 中 農	一〇—三〇	百分の二四	百分の一三
(二) 富 農	三〇—五〇	百分の一六	百分の一七
(三) 小中地主	五〇—一〇〇	百分の九	百分の一九
(四) 大地主	一〇〇以上	百分の五	百分の四三

富農と小中地主と大地主との人数は土地を有する農民數、百分の三十を占め、而して其の占有土地面積は全土地面積百分の七十九を占めて居る。

(五) 土地を有する農民と土地を有せざる農民との數を以て論ずれば

(一) 土地を有せざる農民は農民總數百分の五十五を占め、土地を有するとも極めて狭小なる土地しか有せざる貧農(土地一畝乃至十畝を有するもの)は農民總數百分の二十を占めて居る。此の農民總數百分の七十五を占むる人々は均しく土地を要求して居るのである。

(二) 土地十畝乃至三十畝を有する中農は、農民總數百分の十二を占めて居る。彼等は土地取得の爲め鬭争する必要が無いが、彼等は貧農の土地取得することも反對し無いし、又貧農を援助することも出来る。

(三) 土地三十畝以上を有する富農、小中地主及び大地主は農民總數百分の三十を占めて居る。彼等のすべては反革命的であつて、土地問題を解決するに反對するものは即ち此の百分の三十の人々である。

民族革命と農民階級 (資料第二)

革命發展の現在の過渡的段階に於ては、農業問題は極めて鋭い形態を取る。農業問題は現段階の中心問題である。この基礎的問題を勇敢に捉へ且つそれに急進的な回答を與へ得る階級が革命の指導者となり得るであらう。支那に於ける所與の條件の下にあつては、プロレタリアートのみが急進的な農業政策を遂行し得る唯一の階級である。而してこの農業政策こそ反帝國主義的鬭争を成就し且つ××をより發展せしむる爲めの一先要條件なのである。

支那軍國主義の強味は一方、外國帝國主義によつて、他方土着の地主階級によつて支持されてゐると云ふことにある。軍國主義者の支配の基礎を爲してゐるのは軍國封建的國家機關、地主、劣紳、買辦による數億の農民の奴役、壓迫及び搾取これである。それは農民の間に於ける完全なる土地の缺如と不足に基ける制度である。かくて農民は大地主及び高利貸の下に於て奴隸的勞働を爲し、或は都會や軍隊に於て苦力として群り集ることを餘儀なくされてゐるのである。帝國主義者の暴壓の××と舊封建的關係の一切の殘滓を抛棄する任務、民族的解放の任務、内的社會關係の×××改造のための鬭争の任務は相互に有機的に結びついてゐる。而してそれこそ支那革命の独自の任務をなすものである。軍閥を徹底的に叩き倒すためには、人口の壓倒的多數を占むる農民の經濟的及び政治的鬭争が反帝國

主義的闘争の一分野として展開されねばならぬ。村落に於ける階級闘争の鋭化は統一的反帝國主義戦線を薄弱ならしむるであらうとの杞憂は根據のないものである。第二、國民軍の失敗、——それは革命的強力に依るにあらずして、農民の不満によつて惹起された——はこの状態の危険を指示してゐる。吾々が農業問題を勇敢に捉へず、又農民大衆の具體的政治的經濟的要求を支持しないならば革命は甚しく脅やかされる。資本家階級の一部とのいかゞはしい且つ裏切的な共働を失はんかを恐れて、農業革命の問題を民族的解放運動のプログラムの主要地位に掲げないと云ふことは間違つてゐる。それはプロレタリアートの××的政策ではない。×××は斯る誤謬より解放されねばならぬ。

二

現状勢の特殊相はその過渡的性質、即ちプロレタリアートはブルジョアジの可成の部分とプロツクを結ぶべき豫圖と農民との同盟をより鞏固ならしむるべき豫圖との何れかを選ばねばならぬと云ふ状態、これである。若しプロレタリアートが進歩的な農業綱領を掲げないならばプロレタリアートは、農民を革命的闘争に獲得し得ず又民族的解放運動に於けるその指導権を失ふに至るであらう。帝國主義の直接或は間接の勢力下にあるブルジョアジは運動の指揮権を取り戻すであらう。斯る結果は、現在の諸條件の下にあつては、支那に於ける外國資本の地位の強化と帝國主義の安定に導くであらう。

民族解放が農業革命と關聯せしめられなければ、廣東國民政府は權力を保持し得ず又××は外國帝

國主義及び土着の反動に對する完全なる勝利に向つて進出し得ないであらう。農村に於ける階級分化の漸増的過程は農民大衆と搾取階級との間の闘争を鋭化した。この階級分化とそれから生れた激烈なる闘争とは、×××——農民運動を指揮し、且つそれをその情勢に適應する經濟的及び政治的スローガンによつて發展せしむべき×××の極度の注意を要請するものである。

農民運動によつて既に提出されてゐる權力問題に當面して、中國×××は農村に於ける劣紳及び役人の暴威を×××せんとする努力を支持し國民政府の下層機關によつて舊半封建的役人階級を代替しなければならぬ。これこそ國民政府のデクレートを遂行し、農民階級の壓倒的多數を支持しなければならぬものである。農民は農業管理の創設に參與しなければならぬ。

三

農業革命の綱領は國民黨の國民政府の統治下に於て具體的形式をとらねばならぬ。中國×××及び國民黨は農民を××の味方となすために次の如き手段を緊急に遂行すべきである。

- 1 地代を最少限に引き下げる事。
- 2 農民に課せられたる幾多の租税の廢止及び單一の累進農業税の創設。
- 3 壓倒的農民大衆に加へられたる國税の最大限の整理と減額。
- 4 僧院及び教會の××及び國民黨の國民政府に對抗して内亂を遂行してゐる反動的軍國主義者、買辦、地主、土豪等の×××××。

- 5 小作農の永小作權の確保、最大地代を農民組合及び××權力の代表との連帯にて確立すること。
- 6 廣東政府は農民の利益を全面的に支持し、特に農民を地主、土豪及び高利貸の壓迫及び蠶食より保護せねばならぬ。
- 7 民兵及び地主の他の武裝的團體の武裝解除。
- 8 貧農及び中農の武裝、並びにあらゆる地方的武裝勢力を×××政治權力に從屬せしむること。
- 9 政府は農民組合をも含有する農民の諸團體を最大限度に於て支持すべきこと。
- 10 低利なる國家信用の組織化、高利貸を鎮壓する爲の決定的方法と、且つ各種の農民の相互扶助的組織の支持。
- 11 國家は消費組合及び類似の相互扶助的組織を助力すること。

四

廣東政府をしてこれ等の手段を農村革命のより高度の發展段階への過渡として強行せしむることは×××の任務である。この極めて重大な任務は×××××の指導下にある農民委員會の組織を通じて遂行されるであらう。革命發展の過程にあつては、農民委員會は前記の諸要求を強行するに必要な××及び××をわが物として、且つより急進的なる要求を提起することに依つて鬭争を激化せしむるであらう。農民委員會は地方に於ける國民政府及び國民軍の基礎となるであらう。

尙ほ、反動的軍國主義者に依つて拘束され、且つ支配されてゐる地方に於ては、×××の任務は農

民を驅つて封建主義、軍國主義及び帝國主義に對抗せしむるにある。此の時代に於ては、農民の間の×××事業は極めて重要である。何故ならこれは反動的××を崩壊せしむる最上の方法であらうから、×××××は「紅槍會」の如き自然發生的に生起したあらゆる農民の諸組織を利用し、且つ彼等の間に×××××の勢力を確立すべきである。

五

農民階級の革命に對する態度は大體國民軍の態度と行動とに依存してゐる。革命軍の態度の適否によつて農民階級の新政府に對する態度は決定される。農民階級の新政府に對する態度は又革命軍の態度、その農民階級及び地主に對する態度、その農民階級を援助せんとする用意の上にかゝつてゐる。何處に於ても支那に於て革命軍が農民に熱情的に受け入れられたと云ふことは一箇の事實である。だが熱情が時の経過と共に冷却したと云ふことも亦、事實である。長期に亘る且つ困難なる戦亂は農民階級に新たなる負擔を加へつゝある。農民階級が×××に與へた熱情的な支持は、若し運動を指導せる×××××及び他の×××要素が正しき且つ大膽なる農村政策に依つて當面の農民の負擔を如何に減少すべきかを知つてゐるならば、今後も繼續されるであらう。×××は農業革命の旗手として農民大衆の間に根を張るに至るであらう。

支那國民革命と農業政策 (資料第三)

—一九二七年三月六日支那第五回大會によつて採用されたる決議—

一 一般情勢の分析

(一) 支那の村落に於ける經濟的生活は、未だ大部分封建的諸關係に基づいてゐる。これ迄、土地の大部分(略々六六%)は地代を領收する土豪の所有に歸してゐた。土地を耕作する小作人や半小作人は、何等財産的權利を有して居らぬ。地代は確定して居らず。小作權すら永久的なものではない。平均地代は總生産額の五〇%に迄達してゐる。其他、農民は土地所有階級や、村落に於て政治的權力を有する軍事的官僚やによつて勝手に課せられる他の多くの賦課物を餘儀なくさせられてゐる。僅か三四%(凡そ)の土地しか耕作農民によつて所有されてゐない。資本家的大規模農業は、是等の二三の地方(山東、滿洲)を除いては實際に知られてゐない。大抵の地方では、先祖から受けたものや寺院の所有にかゝるものが耕地の可成の部分を占めてゐる。是等の土地の共同所有は最早實際上破棄されて了つた。たゞ是等所謂共有財産の管理の制度だけは、尙、村落の父家長的政府の基礎を成してゐる。是等の土地の所有權は村の長老達によつて強奪され、それを耕作してゐる農民は收奪されてゐる。村の長老達は強奪によつて土豪となつたが、共有制の傳統のお蔭で、なほも父家長的權利と權力を行使してゐる。斯の如く、封建的父家長制は支那村落の經濟的構成及び政治的行政の本質的形相である。

(二) これと同時に、資本家搾取の原始的方法が村落經濟にはいり込んで来た。かくて農民は、同時に前資本家的並びに資本家的の二重の搾取形態に呻吟してゐる譯である。この結果は、農民の遞増的貧窮化と國民經濟全體制に亘る極度の後進性である。

土豪の賃貸地から收むる地代は全生産額の非常な部分を占めてゐるので耕作者には何等の剩餘も残さない。其の分前は僅かに生命を繋ぐに要せられる程しかない。これは前資本家的搾取形態である。農民は生産の手段方法の改善も許されぬ。其の影響は農業の原始的状態である。これは實質的の農奴である。剩餘は悉皆土豪に收奪されるので、農民はたゞ消費の爲めに生産するだけである。

かゝる封建的關係に基づいて資本家的搾取が打建てられた。土豪に納める地代は、大抵物納である。(これも亦封建制の遺物である)。剩餘農業生産物は、封建土豪の手に蓄積せられ、かくして彼等は同時に商業資本家となる。併し彼等に本質的な封建的特徴は彼等の資本主義的方向に生長するのを妨げる。農民の資本家的搾取によつて彼等の手に蓄積された富は生産資本に轉化されないので土地の投機や高利の爲めに用ひられる。

經濟的後進性は近代交通手段の建設を妨げてゐる。こは、順に、國民經濟の地域的分散の原因となる。國が多く孤立せる地方市場に分割され、堆積せる剩餘農産物を統制する土豪によつて獨占されてゐる。かうした事情の下に於いて土地所有階級は、物價を騰貴せしめ、かくて農民のみならず、プロレタリアートや都市に於ける小ブルジョアを搾取してゐるのである。賃銀の低いプロレタリアート

は否應なしに、食糧を得るに絶えず騰貴し行く價格を支拂はねばならず、小商人は土地所有階級の獨占的投機の無援の犠牲者となる。

此の複雑した原始的搾取制から高利が湧いて来る。これは唯一の信用體制であり、唯一の資本家的蓄積の手段である。併しながら高利的の資本は商工業を増進せしめない。これはまた土地搾取にも用ひられる。法外な地代及び他の封建的賦課は國家の軍事的官僚機構による苛斂誅求と相待つて農民をして永久に飢餓の淵に身を沈めしめる。多くの地方に於いて最高の權力を振つてゐる軍事的官僚的機構は農民大衆を多くの形態に於いて搾取してゐるが、その中最も惡辣極まるものは次の如くである、(イ)法外な合法非合法の租税、(ロ)無償の軍事上の調達(軍隊の爲めに米穀、靴、馬等の)、(ハ)戦争中の強制徴發、(ニ)無償労働(軍隊輸送)、(ホ)價值なき紙幣發行、(ヘ)釐金税。

此の盜賊的半封建的搾取方法は、全國内に於ける生産の上に致命的な影響を及ぼす。自己の剩餘生産物を奪はれて常に飢餓に彷徨する農民は、彼等の經濟を改善することが出来ない。封建的の地代の高率は土地の富を停滞せしめかくて資本家的農民の發展を阻害する。都市商人の手に蓄積された資本でさへ一國の産業發展を阻害しての土地投機に向けられてゐる。

(三) 農業過剰人口は封建的軍國的搾取體制の持續を可能ならしめる。産業の後進性は農業過剰人口の原因となる。帝國主義的支配は經濟的進歩を妨げる。随つて前途なき農業問題と帝國主義との間には有機的な連結がある。

帝國主義は、内國工業品の市場をつくり、本國産業に安價なる原料を見出す爲めに植民地の擴大を求め、労働力は原料の中で最も貴重である。直接に又は間接に(支那の如き)植民地的状態にある國は、本國工業の農業地的背景——安價な労働の豫備——となる。従つて、帝國主義的支配の効果は、農業國化を惹き起すところの植民地の産業の後進性である。産業が發達しないために村落から都市への潤澤無得な労働の流入は行はれない。これは古びた封建的經濟を生き永らへしめるもので、左もなれば、高度の生産形態の生長によつて破裂を免れず、人口のある一地點への密集を惹起する經濟なのである。農業過剰人口は封建的關係及び村落に於ける搾取の持續に寄與するものである。

遞増する土地なき農民軍は労働力の價格を殆んどゼロに引下げ、かくて帝國主義の基礎を鞏固ならしむる。是等全ての原因が集まつて、農民大衆の極度の貧窮化と離散を惹起する。巨萬の離散農民は割のよい労働に就く途を見出し得ずして、盜賊や傭兵と化するのである。國民經濟の分裂によつて生み出された支那特有な社會現象たる軍國主義は、封建的反抗の暴力的表現となり、帝國主義の要具となる。篡奪者たり軍閥たる土豪、劣紳——彼等の全ては一緒になつて封建的反抗及び原始的資本家的蓄積の巨大な機械を形づくつてゐる。此の機械は農民の血をすゝり、國民經濟の機構そのものを粉碎する。これを背景として帝國主義者は、その非常に高度に發展した資本家的搾取を遂行するのだ。

經濟的破滅は農民を驅つて篡奪者の爪牙に投げ込む。法外な利率は急速に嵩み、農民の負債から抜け切ることを不可能ならしめる。そして餘儀なく土地を賣拂はねばならず、その土地は篡奪者の手に

ことを得なかつた。農民に對する壓迫を復活せしめ劣紳や無頼の徒を激成して農民へ逆襲する圖に出でしめたやうなこともあつた。陝西、湖南及び湖北は國民政府の司法權の下にある。陝西に於ける農民が地代や利子の引下の鬭争を始めたとは云へ、一般には、未だ彼等は、自己の力を組織し、鞏固ならしめねばならぬ段階にある。これは全く陝西が蔣介石の鐵の支配の下にあるといふ理由からである。農民大衆は、此の××を××する鬭争を二回行つた。此の時期に於ては、湖北、また特に湖南に於ける農民運動は、到るところに於いてといふわけではなかつたが最高の發展段階に到達した。湖南の農民は、劣紳や無頼の徒の權力を覆滅した。彼等は舊い支配の權力を震撼せしめ彼等自身の××の樹立につとめてゐる。或る地方に於ては、農民は地方政府に參與さへしてゐる。これのみではない、湖北及び湖南の農民は、土地問題の解決に着手しつゝある。——劣紳、無頼の徒の土地××、土地××等。

(一一) 支那に於ける農民運動は主にプロレタリアートによつて導かれて來た。プロレタリアートの指導なしには、それは將來の明確なる見透しをつけた正しい××の道に發展することは不可能であつた。「紅鎗會」や「堅骨團」の組織は、また農民運動の一型式である。だが、それは組織上、並びに鬭争の方法上中世的性質のものである。

階級的差異が湖南ほど著しくない處に於いては、屢々運動は大地主の先導の下に組織せられ、反動勢力のために利用される。併し、此の運動が、軍國主義、重税及び長官の專制的支配に××するものである限りそれは××である。

(一二) 農民運動の發展するにつれて、封建的父家長的反動の權力は、(無頼の徒、劣紳、背徳官吏)は勢ひ農民運動を壓迫するに至る。軍閥と聯合して彼等は運動を粉碎せんとして農民を殺戮し、襲撃するために彼等の、武装せる力を振ふ(盜賊や馬賊)。國民政府が支配してゐる地方に於いては農民運動は比較的自由な條件の下に發展する。運動は極度に發展して一つの勢力となる。此の場合に於いては、劣紳や無頼の徒は運動を公然と襲撃し得ないところから、消極的反抗に出たり又はその地方から米穀を運び去り、農民に貸金を拒み、若しくは農民を襲ひ偽組合を組織するなど卑劣な手段を用ふるに至る。蔣介石に支配されてゐる所に於いては、劣紳や無頼の徒の組合のみが存在することが出來た。國民政府の地域内に於いてすら國民軍の封建分子と結ぶ劣紳や無頼の徒等は屢々農民襲撃を企らむ。それ故に、村落に於ける農民の鬭争は、現在の段階に於いては非常に尖鋭化してゐる。

(一三) 一般に、農民は高い地代や利子に對し、劣紳や無頼の徒の壓迫に對して鬭争を開始しそれが發展して劣紳や無頼の徒の權力に向つて攻撃し始める。かゝる鬭争によつて農民は、××を得んと力め、遂には壓迫者との××××××が起る。革命戦が始まつてゐる地方に於ては、農民は、抑々の始めから、劣紳及び無頼の徒の權力を覆滅せしめることによつて鬭争を歡び迎へる。

この事は、土地問題解決のためのみならず、地代、利子引下の任務を完成するためにも、農民は××せる力及び××××××を要することを證するものである。農民の鬭争は、父家長的及び封建的諸力に

衝き當りこれを撃破すべき段階を通過する。是等一切の闘争に於て、貧農は、主力であり中心力である。農民の××××は、是等の闘争から汲み出される。此の封建的權力を攻撃する運動は、客觀的には、土地問題解決の端緒である。支那に於ける農民、特にその下層は、土地の不足、土地所有者の搾取及び法外な賦課を痛烈に感じてゐる。彼等の目的を實現するには、彼等は、××××のために闘争し、租税徴収の機構を獨占し保持する劣紳や無頼の徒を打破せねばならぬ。彼等は土地の爲めに闘争し、土地所有階級が我等を強ふる搾取の支配を終滅せしめねばならぬ、——地代の引下から、××××を農業労働者へ——に至るまで。

(一四) 革命の現段階に於いて、全國に亘る農民は同一水準に達してゐるとは云へ、主要なる二特質が十分に識別される、即ち、封建的父家長的權力の瓦解が始まつたこと、土地問題の解決が始まりかけてゐるといふこと。これは革命の最近の段階に於ける重要な形相である。村落に於ける階級闘争の發展、農業革命の深刻化は支那に於ける帝國主義的支配の道具を破壊するのみならず。反動的封建的及び大ブルジョアジーの經濟的基礎を激烈に攻撃するであらう、しかして、それによつて、帝國主義は、反革命の反動分子を組織し得たところの基礎から排除されるであらう、換言すれば、革命の現在の傾向は、劣紳及び無頼の徒の勢力を驅逐し、大土地所有者及び反革命的勢力の××××××し、貧農を主力として村落に於ける××××××を樹立し、現實に農民の經濟的地位を改善し、土地の××××に農民を導くことにある。

三 國民革命の農業綱領

客觀的情勢並びに農民運動に實體化されてゐる主觀的諸力の上述の分析に基づいて、中國××××第五回大會は、革命の現段階に於ける農業問題解決は次の如き手段を要求することを決議す。

(イ) 一切の公有地、傳承地、學校寺院、及び教會の土地及び會社に屬する土地の××××並びに、それ等を耕作しつゝある農民への××××。是等一切の××××の管理は、××××が××××に基づいて耕作さるべきか、若しくは耕作しつゝある農民に××××すべきかを決定するところの土地委員會の手に歸すべし。

(ロ) 小作人に賃貸せる土豪の土地の××××並びに、土地委員會を通じて耕作しつゝある農民への××××××。

小土豪に屬する土地は沒收されず。革命軍の士官によつて今迄準有された土地は、沒收されず。

土地を有せざる革命軍の兵卒は、革命戦の後耕作すべき土地を與へらるべし。

(ハ) ××××されたる土地は、國家に納むる累進的土地税を除き、一切の徵税を免るべし。××××されざる土地の地代は、××××されたる土地に課する租税に相應する水準迄低下さるべし。××××されざる土地を耕作する農民は、定額の地代を受け、永久小作權を有し、他の一切の負擔を免るべし。

(ニ) 劣紳及び土豪から一切の政治的權力權利を剝奪す。田舎の被抑壓階級を基礎とする村民集會に責任を負ふ村自治制の樹立。

(ホ) 田舎に於ける反動軍閥の解散並びに、村自治制及び××××××を防禦するための農民軍の組織。

(へ) 國立農業銀行及び農民の共同信用、生産及び分配協會、並びに灌漑の改良。
(チ)(ト) 強奪者に對して農民を防禦すべき闘争。累積せる負債の××並びに最高利率の制定。

支那に於ける農業問題と農民運動 (資料第四)

— 中國×××第六回大會土地問題決議の一部 —

一 中國の土地關係

A、農民の土地要求の争闘

一、土地革命は支那革命の主要なる内容であり農村の階級闘争は既に深化しつつある

農民の土地革命は、依然として支那革命現段階の主要なる内容である。支那革命が経過したところの時期は、決して農民をして勝利を得させしめなかつたばかりでなく、封建的地主豪紳とブルジョアとの反動は、一時的に勝利を得た。彼等の勢力は一時的に團結して農民を鎮壓し、それ故に農村に於ける支配階級はより兇惡なる壓迫を農民に加へた。同時に、支那革命の現下の形勢は、正に農村に於ける階級闘争と階級矛盾の劇化と深化の中に發展してゐる。

二、農民の闘争は土地を要求してゐる

最近數年間の經驗の中に、支那農民の闘争は一切の封建的束縛に反對するものであり、農業の中の一切の中世紀的搾取に反對するものであること、而して闘争の主要なる目標は地主の封建的な搾取と支配とを顛覆せんとするものであり、農村の社會制度の完全なる民主主義化を力争するものであることを見得られる。かゝる闘争は悉く、農民が土地を要求してゐることを表示する——土地は農民に對して最も主要なる生産資料であり生活を維持する源泉である。

B、農民の種類と土地關係

一、支那は小農的農業經濟であり歐洲の地主的農業經濟は殆んど無い。

中國が有する耕作し得べき田地は、大部分(少くとも二分の一以上)が、特に肥沃なる田が、地主階級の手中に集中し、その他の土地は農民に屬してゐる。農民は、更に彼等の經濟狀態及び土地の多少に照して、幾つかの小階級(富農、中農、小農及び貧農)に分つことが出来る。支那には殆んど歐洲式の地主經濟は無く、小農經濟が優勢を占めてゐる。支那が有する耕作し得べき田地は、悉く極小なる經濟單位に分割され、幾百萬戸の農民生産者大衆により、支那式の農具を用ひて耕作されてゐる。

二、農民は小作農、半小作農、自作農に分たれる。

支那の幾百萬農民大衆の大半は極小なる農業生産者である。彼等の中の大部分は次の如く分け得られる。

- 1、絶對に土地を有せぬ農民(小作農)
- 2、小農、自己の土地は非常に少なく更に地主の田を小作しなければならぬもの(半小作農)

3、小農、自己の土地を有するもの、但し更にその他の勞作をなして、耕田の不足を補はねばならぬもの（自作農）

三、土地は集中して農民が地主の束縛を受けることは日に甚しい。

支那の農民中少なくとも四分の三は、土地を有せぬ農民と僅かに之を有する農民である。それ等は歴史上地主が兼併せる結果である。土地兼併の過程の外、同時に土地は非農業階級（貨幣資本家）の手中に集中されるところの過程がある。農民が所有する土地は日一日と減少し、之がために農業生産者（自ら耕作する人）、極めて廣大なる農民大衆は、日一日とより多く地主の束縛を受けてゐる。

四、土地所有制と土地使用關係とは土地問題の中心である。

かくの如き情形の下では、支那の土地關係の根本問題は、即ち土地所有制の問題である。而して土地の使用關係に於ける搾取は亦、農民搾取の主要なる根本方式である。

〇、支那土地問題の特殊なる點

一、支那土地關係の特殊なる點は四項あり。

支那の土地制度の歴史は、大地主と小地主との互闘の歴史と密切なる關係を有する。更に支那の經濟的發展は多くの特殊條件を有する。之に因つて最近數百年來、土地制度の中に幾多の特殊なる點を發生した。その中最も主要なるものは次の如くである。――

1、ブルジョアの土地所有制が既に優勢を占め、かゝる優勢は益々發展しつゝある（土地の大半は賣買し得られる）。

2、物納地代は依然として非常に一般的な廣汎な現象である（時には僅に表面だけ貨幣の形式を用ひる）。

3、地主階級のうち小地主は大地主に比較してより優勢を占めてゐる（土地が地主個人に集中するものは非常に少い。而して土地が地主階級に集中する過程は非常に急劇である）。

4、各省地主の大小の關係が不平均である。

二、支那の小地主が收奪することは特に劇しい。

支那の大地主の發展は決して甚しくはない。然しながら地主階級の所有する耕地は殆んど肥沃なものが大部分を占め、地區も亦比較的良好である。支那の農業勞働は「極めて強度のもの」であり、支那の農業はより小なる面積の土地に巨量の勞働を吸収せねばならない。土地の所有關係上及び土地の使用關係上農民の土地分割は極小であり、支那の農村人口は更に益々増加し過剰を來してゐる――茲に於いて幾億の農民大衆の被搾取はより甚しく劇烈となる。のみならず地主が小であればある程その收奪の方法は益々劇しく兇惡となり、耕地貸付の條件は益々苛酷である。

三、支那の農民は封建的並びにブルジョアの收奪を受ける――二種類の方式が混合されてゐる。

最も注意すべきものは、支那の進歩的（ブルジョアの）土地所有の方式と、後れたる半封建的農民收奪の方式とが互に結びついてゐるといふことである。一方に、土地は貨幣資本家の手中に集中され、

他方に、農民（小作農）が地主に代つて勞役する制度はなほ存在し、更に農民は地主の束縛を受け甚しい場合は身體の自由を失ひ、男を賣り女を賣らねばならない。地主は、非經濟的方法即ち強迫的方法を用ひて農民を收奪する。それには勿論より、多くの方法があり、實行されることも非常に廣汎である。かゝる種々なる不同の方式が、凡て互ひに結びつき、混合しあつてゐる。

四、支那の農業はこれのために衰退する。

農民の破産（農民の「窮困化」——Pauperisation）、土地の缺乏は更に、土地を持たぬ農民並びに僅かの土地を持つ農民をして甚だしく残酷な收奪を受けしめ、彼等をして自己の勞働力を恢復し、自己の資本（生産資料）を恢復することを得しめない——即ち重ねてまた生産するところの根本條件がないが故に、「再生産」を實行し得ない。これがために一般的に農業經濟は停滯し衰退し、最大多數の農民生産者大衆は全く餓死しやうとしてゐる。

五、所謂公有地は豪紳の私産であり、豪紳地主階級は農村に於いて官僚封建制度を代表するものである。

耕地貸借制度の農民を收奪するのは、單に地主が私有耕地を貸付するばかりでなく、所謂公有地、例へば族田、祠田より寺院廟宇の官田等々の貸付がある。地主の耕地の地代は、地主の收入であり、所謂公有地の地代は表面上は公共機關の收入であるが、その實全部が豪紳の收入である。豪紳は公有地を握つてゐて小作農より地代を收める。經濟上に於いては即ち地主である。豪紳とは支那古代の士大夫階級（貴族）の名稱であつて、現在では官吏軍官であり、富商までが悉く「紳商」と稱してゐる。

舊時の支那に於いては地主階級は紳士階級であり、現在では耕地を貸付けるもの、富豪にして農村に在るもの悉くが紳士であり、政治上の或種の特權を享有する。舊時の名家で現在落ちぶれた紳士は、自らは耕地を有しないが政治上の特權を有するが故に、或るものは所謂公有地を握ることを得て、實際上の地主となる。豪紳地主階級は支那の官僚的封建制度下の支配階級であつて、政治上支那の農民を壓迫するところの階級である。更にまた一つの現象がある。即ち地主が農民の反抗を鎮壓せんがために團防民團を掌り、團防によつて地方に割據し、轉じて軍閥となつてより、劇しく農民を收奪し、農民の土地を掠奪し、變じてより大なる地主となり、農民をして漸次に農奴に變ぜしめる。

六、軍閥の課税は地代收納に等しい、のみならず軍閥は一種の封建的な軍事徭役を實行する。

小農經濟が優勢を占め且つ小自作農が多數を占める地方では、地主が直接に小作農を搾取する以外に、なほ異つた一種の搾取が行はれる。即ち、軍閥の課税制度（實際はなほ封建的な軍事賦課である）も亦、一種の地代搾取の方法である。軍閥の課税は非常に重い。決して普通の耕地貸借による地代に比して少くはないのみならず、軍閥は強迫的に人夫を徵發したり、兵卒を強募したり、家畜糧食を徵發したり等々、全く一種の封建的な「軍事的徭役」である——同様に農民の勞働を搾取する方法である。

二、高利貸借資本と商業資本

D、支那の商業資本と高利貸借資本の作用

一、高利貸と商業資本家とは往々にして地主階級をも兼ね農民を搾取する。

農民は最も残酷なる収奪を受けて、幾千萬の農家経済は破産し窮困に陥り、農民が天災戦禍或ひは凶作に遭遇した時には、直ちに無数の餓死者を生じねばならない。更に、貨幣経済の關係は發展し、到る處既に貨幣交易を用ひてゐて「自給自足」の經濟（自然經濟）——嘗て支那の農村經濟は大部分このやうであつた）ではない。市場經濟の制度も亦既に支配的の制度となり一切を包みこんだ。（農民の生産品は是非とも一部分を賣拂つて貨幣に換へ更にその他の購買品——石油、マツチ、布帛、鹽等々を買はねばならない。）こゝに於いて農民はいよゝ金錢を要求する。これが爲めに高利貸借資本發展の條件は造り上げられた——農民の大多數は毎年凡て借財しなければならぬ。それ故に富農は利潤を收め、利子は益々高くなつた。商業資本の農民に對する搾取も亦このやうであつて、支那の豪紳商人は端境期（前年の舊穀は盡きかゝり今年の新收穫には間がある頃）に、米穀、或は肥料を農民に賣る。彼等も亦金錢を貸出すが、極めて苛酷な利子を附加する。更に買辦商人は原料（繭、茶、米、綿、豆、煙草等々）を買入れるに際して、往々農民が早急の金錢の必要に迫られてゐるに乗じて、買入價格より利子を控除して先渡しするのみならず、豫め原料の價格を低下する。このやうな高利貸借資本と商業資本とが農民に對する壓迫と、土地使用關係上の農民搾取（耕地小作）とは、互に結びつき聯絡してゐる。支那の農村に於ける經濟關係上の特徴は、特に地主階級と商業・高利貸資本の代表するものゝ殆んど完全に混合されたものである。一個人が地主と商業資本家と高利貸資本家とを兼ねてゐる。一

人の地主は、一方で小作農を壓迫するところの地租を以て、他方では債權者として、高利により農民を懸命に剝ぎ取る。その結果として地主は自己の小作人と債務者とを、全く債務の奴隸と變へてしまひ宛も牛馬の如くに彼等を待遇する。かくて豪紳はかゝる手段によつて農民の土地を奪取する——自作農は往々、負債のために土地を差押へられて小作農に變へられる。自己の土地を失ひたる農民は、新たに地主から土地を借り受け、往々、自己が元來所有してゐた田を小作する。——小作料徴收の方法は、大半はまだ農産物を以て代納する。米穀或ひは現銀を借り受けて返済し得ぬ農民も亦、往々その土地を賣拂ひ遂には債權者（高利貸商人、官吏）のために、自己が元來所有してゐた田を耕作するに到る。新しき地主は従つて益々貸付の手段によつて、次ぎ／＼と農民を削り取る。要するに、現銀を所有するもの（高利貸）土地を所有するもの（地主）物資を所有するもの（商人）等の一聯は、三種の方法を用ひて同時に併進的に農民を搾取する。現銀を所有するものは土地を所有するものに變化し、土地を所有するものは物資を所有するものに變化する（農民の勞働生産品を收奪する）延いては「農民それ自身を所有するもの」に變化する。（奴隸制度——例へば、男女兒を賣り、妻を賣り地主のために勞働して債務償還に宛てるが如きに因り）。

二、資本家が半封建的搾取をなすと同時に、土豪劣紳はより公然と土地を掠奪する。

高利貸資本と商業資本とは、宛も礪臼の二片の石の如くに、農民の私有土地を掠め取る。商業高利資本は、農民の土地を着々と没收し、益々土地を貨幣資本家の手に集中する——同時に土地を喪失せ

しめられたる農民は、更に土地を獨占するものの束縛を受けその自由を喪失し、耕地を賣拂つても尙ほ債務を負ふために、かゝる束縛は益々廣汎なものとなる。高利貸商業高利資本の作用は、即ち事實上農民の私有土地を沒收するものである。同時に農民の土地を沒收する方法は、即ち公然たる土地の掠奪である。農村の直接的支配階級、富商、高利貸、地主より正規の軍閥官僚、現在では特に軍官は往々にして非常に簡単に「民有地の強制占據」「民有地の強制買上」「農産物の沒收」「訴訟ゴロ」と結託した土地の侵蝕」等々を實行する。

三、農民の生産品はこれがためにその極めて大部分が剝奪され益々破産しつつある。

數千百萬の收奪せられる農民は、非常に多くの農業生産品を生産するが、その極めて大部分は農村に於ける支配者によつて掠奪せられる。彼等を掠奪するものは、即ち地主・商人・高利貸及びその代表——官僚と軍閥とである。農民生産者自身に剩されるところは、非常に少い米穀であつて辛うじて生活を支へるに足るだけであり、危く、その場で餓死といふ状態に陥らないまでである。それ故に最大多數の農民は、實際には死滅の道へ追ひやられてゐる。

三、支那の土地問題と土地闘争

E、農民が土地を得んとして闘争することの意義

一、支那の現在の土地關係は半封建的關係である。

中國の土地關係の特徴は以上の分析よりして、非常に明らかに表はされる。現在農村に於ける社會經濟制度は、完全に過去の封建制度の餘毒に束縛されてゐる。支那の封建制度の歴史的發展の特殊なる情形は、西歐封建制度とは多くの差異を存する。中國以前の國家に於ける封建制度は、所謂國有土地と地主の土地私有制度とが、同時に併存した。この二つの制度は相互に闘争した。然して根本的事實は決して之がために變更されなかつた。この根本的事實こそは、現在の中國に於ける經濟政治制度が、確實に半封建制度であると規定さるべきものである。(現下のかゝる制度が資本主義への過渡的なものであるとの條件の下で)。上述せる中國の經濟制度の特徴、土地關係の特徴は、非常に明らかに半封建制度である。

二、中國の土地制度の特徴は決して完全なるアジア的生産ではない。

若しも現代中國の社會經濟制度、ひいては農村經濟を目して、完全にアジア的生産方法より資本主義への進行過程にある制度とするならば、それは誤謬である。アジア的生産方法の最も主要なる特徴は次の如くである。

- 1、土地私有制度のないこと。
- 2、國家は巨大なる社會的工事の建設(特に水利、河川等)を指導する。これは集權的中央政府が一般小生産者の組織(家族共產團體或ひは農村共產團體)を支配するところの物質的基礎である。
- 3、協同體制度の鞏固なる存在(かゝる制度は工業と農業とが家庭を通して結びつくところに基づ

く現象である)。

かゝる條件は、特に第一の條件は、中國の實際情形と相反するものである。

三、支那の土地闘争は、土地を全く持たぬ農民並びに僅に之を持つ農民と、土地を獨占する階級との間に於いて、相互に土地を争ふ闘争である。

多くの歐洲の國家に於ける土地闘争の意義は、小ブルジョアの土地私有と、中世紀的地主との間の矛盾である。支那の土地闘争は、しかし之と異なる。支那の土地闘争の意義は、無數の全く土地を持たぬもの及び僅に之を持つ農民と、土地を獨占する階級(大、中、小地主)との間に於ける矛盾である。支那の農民が土地を要求するところの闘争は、小ブルジョアの土地私有者が、封建的大地主に反對する闘争ではなくて、無數の完全に掠奪されて土地を持たぬ農民(小作農)、並びにまだ完全には沒收されて居らぬ農民(僅に土地を持つ自作農)とが、土地を獨占するところの階級に反對し、土地の使用、經營の自由を要求し、封建的束縛、收奪、強制及び壓迫より脱離せんがために戦ふものである。

四、それは客觀的には資本主義的發展の闘争である。

農民の革命的闘争は或種の程度の下に於いては、簡單なる生産擁護の闘争に過ぎないが、但し客觀的には農業經濟の資本主義的發展のために戦ふものであり、自由なる農民をして、資本主義的小農經濟に變化せしめやうとするものである。

五、農民は同時に商業高利貸資本の壓迫より離脱せんがために闘争する。

同時に地主と商業高利貸資本とが混合し結合されてゐるために、そしてその大半は一つとなつて「兼務してゐる」がために、それ故に若しも農民が商業高利貸資本の壓迫を脱れることが出来なかつたならば、彼等——農民は鞏固なる革命的勝利を得ることは出来ないのである。

六、然して主要なるものは地主への反對である。

併しながら、支那の農民の革命的闘争の主要なる内容は、現下のこの段階に於いては、猶ほ土地を獨占する階級——この階級は中國の社會に於ける經濟上最も有力にして主要なる封建的殘存である——に反對することである。

七、軍閥は實際上最大の地主であり、自作農は賦税の苛重なるがために全く自己の土地に於ける勞働の生産物を支配することが出来ない。

農民は土地使用の自由のために闘ふ、かゝる闘争は同時に又即ち軍閥に反對するところのものである。軍閥は單に農村に於ける支配階級、地主豪商高利貸と密切なる關係があるのみならず。多くの省區に於いて軍閥は事實上全省の土地の主人である。彼等は複雑なる租税徵收の方法によつて直接に農民を搾取する。例へば北方の二三の省區に於いては、小自作農が多数であるが、實際上の土地所有權は軍閥に屬して居り、彼等は地積に應じて隨意に課税し、農民をして自己の土地に於ける勞働生産物を、自由に支配することを不可能にして居る。

八、農民運動の發展は猶ほ半地主的富農への反對に迄到らねばならぬ。

革命的農民の土地要求の運動は、過去の經驗に照して見來れば、富農への反對の闘争にまで發展しやうとするのを免れない。支那の富農は多くは半地主であり、農業労働者を用ひて雇傭労働の搾取をなし、耕地を貸付けて小作農の労働を搾取するものに比して餘り差異はないものであるからである。現在農民大衆の富農に反對する闘争は、決して彼が農村の資本主義關係を代表するから反對するのではなくして、耕地を貸付けるところの半地主であるからに反對するのである。かゝる闘争は若干の地方に於いては非常に劇烈である。

四、帝國主義と支那の土地問題 (省略)

五、土地制度發展の前途 (省略)

昭和四年七月廿三日印刷
昭和四年七月廿九日發行

(定價金八拾錢)

支那農民運動と農業問題の近況

編譯者

産業労働調査所

東京市牛込區神樂町二丁目十一番地

發行者

足助素一

東京市牛込區神樂町二丁目十一番地

發行所

叢文閣

振替東京四二八八九番
電話牛込二五七三番

東京市神田區表神保町十番地

印刷所

文成社印刷所

前田宗松

ヴァルガ著 經濟批判會譯 世界經濟年報 第一輯 送料價 〇九六〇

ヴァルガ著 經濟批判會譯 世界經濟年報 第二輯 送料價 一〇〇八〇

ヴァルガ著 經濟批判會譯 世界經濟年報 第三輯 送料價 一〇〇八〇

ヴァルガ著 經濟批判會譯 世界經濟年報 第四輯 送料價 一〇〇〇〇

ヴァルガ著 經濟批判會譯 世界經濟年報 第五輯 近刊

益田豐彦著 安定後に於ける 資本主義没落期の經濟 送料價 〇七六〇

ブハーリン著 帝國主義と世界經濟 送料價 〇八六〇

ゾンテル著 新帝國主義論 送料價 一〇〇八〇

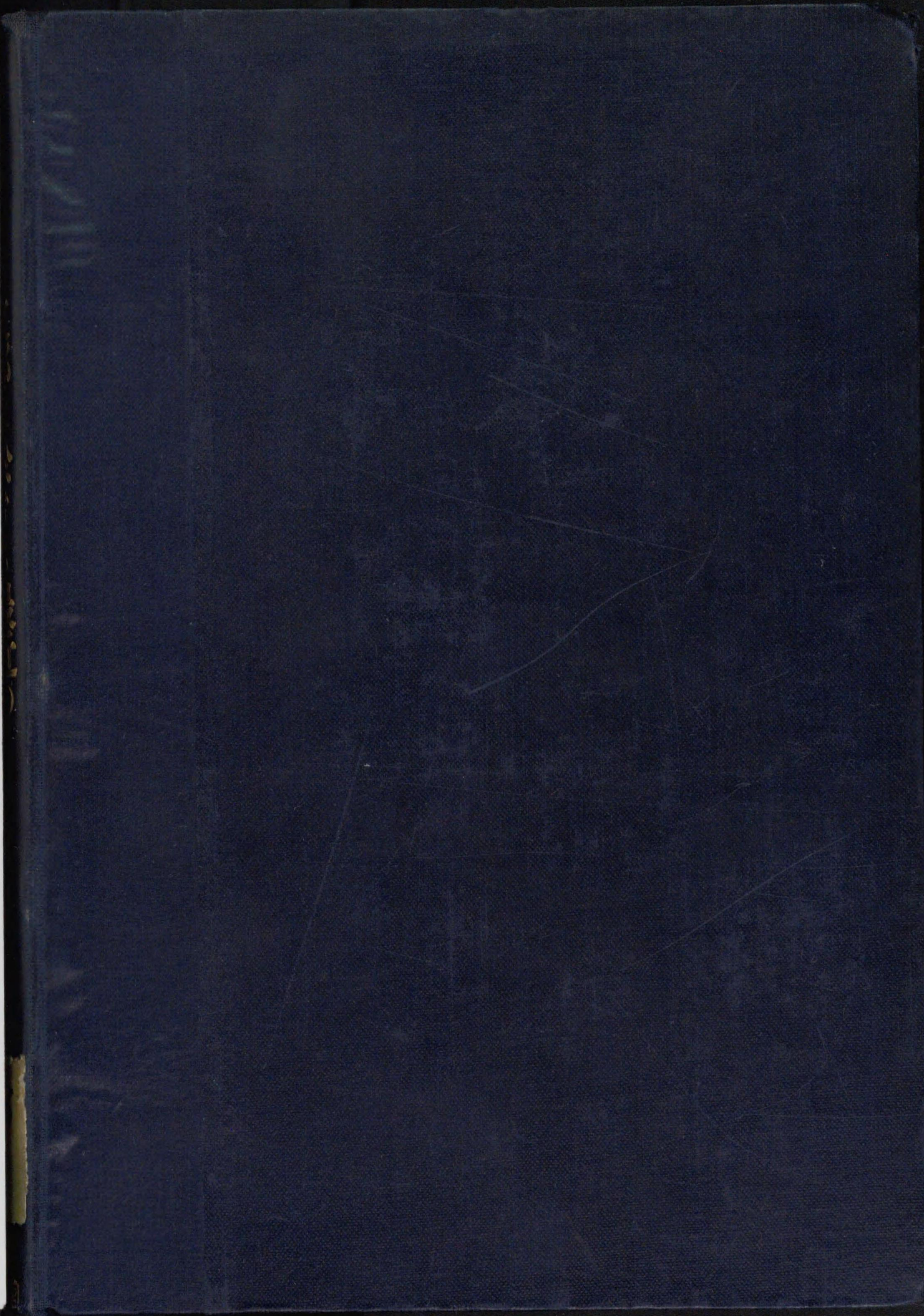
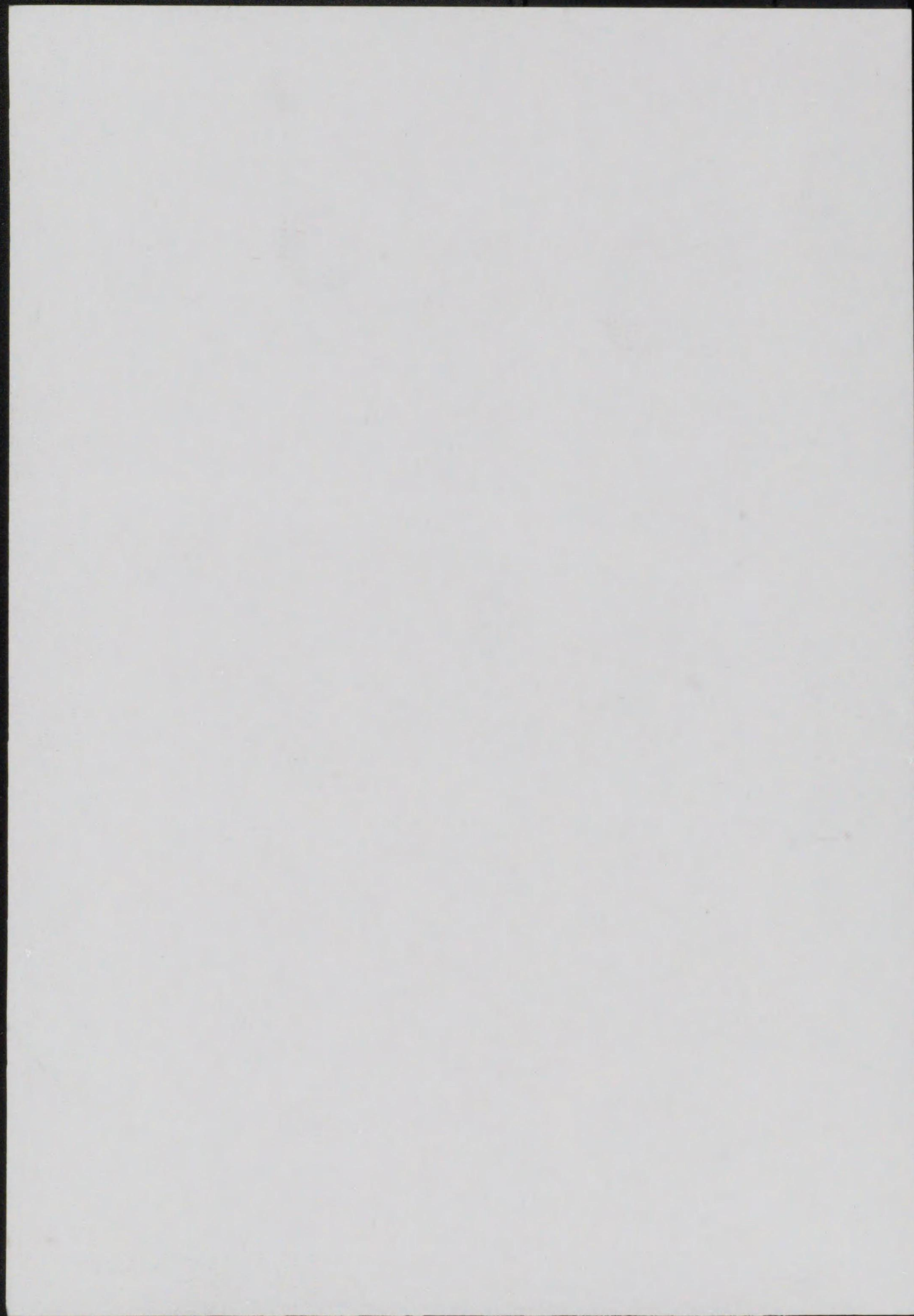
51

5
1

5
1

¥ .80

598
16

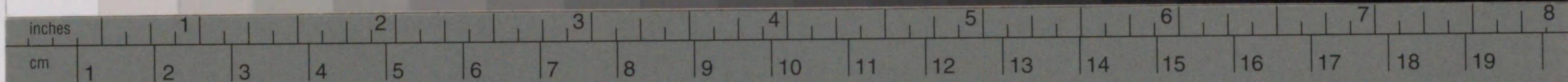


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

